

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民芸術文化祭運営事業			事務事業コード	30460100
概要	市民芸術文化祭の実施				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	重点プロジェクト	事業開始年度	昭和39年度～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業					
対象	参加者：日頃から自主的に芸術活動を行っている市民 参観者：全市民				
実施の背景	芸術文化活動を自主的に展開している市民の日頃の成果を発表する機会をつくり、文化活動を育成・奨励していくため、昭和39年度より実施している。				
事業目標	市民相互の文化の交流や、これまで芸術文化に親しみのなかった市民が芸術文化に親しむことを促進し、府中市がこれまで培ってきた伝統や文化を次世代へ継承していくことを目標とする。				
事業内容	府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）との共催により、市内各施設において催し物を実施する。各事業については、団体関係者による出演や出品のほか、可能な限り一般市民の参加を呼びかけ、広く事業に参加できる方法をとっている。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成28年9月4日オープニングフェスティバル 平成28年12月3日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中 参加者数 5,643人、参観者数 139,856人	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施した。平成28年度より「開会式」を「オープニングフェスティバル」へと改称し参観者増加に努め、参観者は昨年に比べ全体としても増加した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
平成29年9月3日オープニングフェスティバル 平成29年12月2日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施する。参加者・参観者の数を増加させるため、PR方法や運営方法を検討する。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
平成29年9月3日オープニングフェスティバル 平成29年12月2日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・グリーンプラザ・郷土の森博物館・美術館 ・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中 参加者数 5,694人 参観者数 119,804人	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施した。事業開催日に悪天候が重なり、参観者数は減少したが、事業の参加者数は増加した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
平成30年9月2日オープニングフェスティバル 平成30年12月1日閉会式 使用会場：府中の森芸術劇場・市民活動センター「プラッツ」・郷土の森博物館・文化センター・大國魂神社境内・ルミエール府中	府中市芸術文化協会との共催により、全41事業を実施する。PR方法や運営方法を工夫し、参加者・参観者の数を増加に努める。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	文化・芸術の振興・伝統文化の次世代への継承のため、市民からの要望が高い事業であるが、より多くの参加者・参観者に事業に携わっていただくためにPR方法についても検討を要する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
市民芸術文化祭の参加者数	5,580	計画 当初値	5,660	5,700	5,740	5,780	5,780	29年度は指標は計画値を若干下回る程度で、指標については天候不良により下回った。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	5,267	4,885	5,643	5,694	-		
市民芸術文化祭の参観者数	121,247	計画 当初値	124,000	125,000	126,000	127,000	127,000	
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	122,748	120,249	139,856	119,804	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	13,311,000	13,893,000	13,398,000	13,260,000	13,144,000	13,317,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	12,000,000	0	0	0	0	0
一般財源	1,311,000	13,893,000	13,398,000	13,260,000	13,144,000	13,317,000
予算現額	13,311,000	13,953,000	13,072,000	13,015,000	13,050,000	0
決算額	13,000,772	13,789,066	12,870,710	12,809,362	13,002,265	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,000,772	13,789,066	12,870,710	12,809,362	13,002,265	0
執行率	97.7%	98.8%	98.5%	98.4%	99.6%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.06	1.26	1.28	1.28	1.15	
職員人件費	8,476,754	9,630,371	9,970,356	9,971,969	8,824,019	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	325,542	354,972	684,606	444,975	314,809	
総コスト	21,803,068	23,774,409	23,525,672	23,226,306	22,141,093	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
毎年9月初旬から11月下旬にかけ、府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）加盟団体を中心として、市内で文化活動を行っている団体や個人が参加でき、また一般市民が参観できる様々な催しを行っている。平成29年度は37団体が41事業を実施した。開催に先立ち府中の森芸術劇場でオープニングフェスティバルを行っており、平成20年度より参加団体自身によるアトラクションを主体とした形に切り替え、また、府中市の文化を紹介する形式をとることにより、市民にとって親しみやすい催物となっている。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
平成28年度より「開会式」を「オープニングフェスティバル」へと改称し、市民にとってより参観しやすい事業として参観者増加に努めた。各団体の事業についても、参加者・参観者の増加を第一の目標として催物のあり方やPR方法について考え、参加団体の自主性を高めることで、より良い運営と更なる市民参加を目指していきたい。また、市と市民との協働事業として長年開催され、市民の文化・芸術活動の発展の場として定着している事業であることを活かし、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成と文化の発展に寄与した取組みを工夫していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0276000	市民芸術文化祭運営費	13,144,000	13,002,265	13,317,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							13,144,000	13,002,265	13,317,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	民俗芸能伝承普及事業			事務事業コード	30460200
概要	民俗芸能の伝承普及、後継者育成				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業					
対象	市民、府中囃子保存会、武蔵国府太鼓連盟等				
実施の背景	府中囃子を昭和58年に市指定無形民俗文化財に指定した。武蔵国府太鼓を昭和57年に市の民俗芸能として創作した。				
事業目標	市の民俗芸能である府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成				
事業内容	1 府中囃子演奏技術伝承事業 府中囃子保存会に演奏技術伝承事業の委託を行い、演奏技術の伝承を図る。 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 武蔵国府太鼓連盟に武蔵国府太鼓の講習会実施を委託し、伝承普及を図る。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：5月6日～3月24日 (全44回)	府中囃子演奏技術伝承事業は、後継者を育成するため、技術伝承を府中囃子保存会に加盟している24団体に委託し、事業を継続的に展開した。特に若い世代の指導にあたっては、青少年の健全育成の観点から、囃子を通じ心技体等総合的育成に努めた。武蔵国府太鼓は練習会場の定員の関係から応募資格に制限を設けたことで、参加者は27年度に減少したが、28年度は前年度に比べ増加し、府中市民芸術文化祭や桜まつりで練習の成果を発表した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：7月21日～3月30日 (全34回) 3 府中囃子のCD作成・販売	府中囃子、武蔵国府太鼓ともに現状のまま継続して実施するが、武蔵国府太鼓は、講習場所を府中グリーンプラザから新施設である府中の森劇場分館へ変更するとともに、27年度より設けている3年連続受講までの制限を継続し、新規受講者の開拓を促していく。また、市の無形民俗文化財である府中囃子を市内外へ広く普及するとともに、演奏技術を正しく継承することを目的に府中囃子のCDを作成し販売する。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：7月21日～3月30日 (全34回) 3 府中囃子のCD作成・販売	府中囃子演奏技術伝承事業は、後継者を育成するため、技術伝承を府中囃子保存会に加盟している24団体に委託し、事業を継続的に展開した。特に若い世代の指導にあたっては、青少年の健全育成の観点から、囃子を通じ心技体等総合的育成に努めた。武蔵国府太鼓は練習会場の定員の関係から応募資格に制限を設けたが、ほぼ定員とおりの参加者が集まり、府中市民芸術文化祭や桜まつりで練習の成果を発表した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
1 府中囃子演奏技術伝承事業 ・事業委託先：府中囃子保存会 ・期間：4月1日～3月31日 2 武蔵国府太鼓伝承普及事業 ・事業委託先：武蔵国府太鼓連盟 ・期間：5月11日～3月29日 (全44回) 3 武蔵国府太鼓のDVD作成・販売	府中囃子、武蔵国府太鼓ともに現状のまま継続して実施するが、武蔵国府太鼓は、27年度より設けている3年連続受講までの制限を継続し、新規受講者の開拓を促していく。また、武蔵国府太鼓を市内外へ広く普及するとともに、演奏技術を正しく継承することを目的に武蔵国府太鼓のDVDを作成し販売する。

平成31年度における事業の位置付け		B	本事業を実施することにより、府中市の民俗芸能である府中囃子と武蔵国府太鼓の伝承・普及を推進しているため、今後も継続して実施していく。
A 重点化・拡大して継続			
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない	1	
	2 見直しには法令等の改正が必須		
	3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
武蔵国府太鼓伝承事業参加者数	73	計画値 当初値	77	79	81	83	新規受講の方に加え複数年継続して受講されている方が多数いるため、応募者数が年々増加していた。しかし、音楽室の定員をオーバーしていることや、新規受講者の開拓を促すべく連続3年を受講限度としたため数値を補正した。
		計画値 補正值	-	50	50	50	
	実績	84	51	64	51	-	
-	-	計画値 当初値	-	-	-	-	
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	2,526,000	2,522,000	2,520,000	2,520,000	3,202,000	6,069,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,000,000	0	0	0	0	2,700,000
一般財源	1,526,000	2,522,000	2,520,000	2,520,000	3,202,000	3,369,000
予算現額	2,526,000	2,522,000	2,520,000	2,520,000	2,778,000	0
決算額	2,230,837	2,317,213	2,508,358	2,337,484	2,682,828	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,230,837	2,317,213	2,508,358	2,337,484	2,682,828	0
執行率	88.3%	91.9%	99.5%	92.8%	96.6%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.42	0.41	0.31	0.31	0.28	
職員人件費	3,390,702	3,127,813	2,386,068	2,386,454	2,127,219	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	122,078	106,491	163,835	106,489	75,891	
総コスト	5,743,617	5,551,517	5,058,261	4,830,427	4,885,938	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>市の民俗芸能である府中囃子（市指定無形民俗文化財）の演奏技術伝承事業を実施し、府中囃子の保存伝承に努めており、府中囃子の継承団体である府中囃子保存会の会員数は増加している。また、市の創作芸能である武蔵国府太鼓の演奏技術伝承事業として新規受講者の開拓を促しながら講習会を実施している。平成29年には府中囃子（2流派）を収録したCDの作成・販売をすることで伝承と市内外へ広く普及に努めることができた。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>武蔵国府太鼓は、市の民俗芸能として市民に認識されつつあるが、継承団体数や規模は発展途上であり、講習会の修了者の処遇と併せて課題となっている。また、府中囃子・武蔵国府太鼓ともに、多くの人に知ってもらうためにCD等を活用して更に市内外へ広くPRしていく必要がある。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

行	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0278000	民俗芸能伝承普及事業費	3,202,000	2,682,828	6,069,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							3,202,000	2,682,828	6,069,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民文化活動事業奨励事業			事務事業コード	30460300
概要	芸術文化活動において特に功績のあった者と、長期にわたり芸術文化団体の活動に尽力した者の表彰。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市民芸術文化奨励賞の選考及び授与等に関する要綱、感謝状の贈呈に関する基準				
市関連事業					
対象	府中市民芸術文化奨励賞は、期間内に、自主的な芸術文化活動において特に功績のあった個人、または団体。府中市文化活動功労賞は、芸術文化団体の役員を10年以上経験した個人。				
実施の背景	平成6年に府中市民芸術文化奨励賞の選考及び授与等に関する要綱が制定された。また、昭和52年に感謝状の贈呈に関する基準が制定された。				
事業目標	市民文化活動を奨励することにより広く市民文化の振興と向上を図る。				
事業内容	芸術文化奨励賞については、期間内に芸術文化活動において特に功績のあった個人または団体を対象に、広報等で候補者を募り、審査委員会を設置して該当者を決定する。 文化活動功労賞については、芸術文化団体の役員を10年以上務めた者を対象に、各文化団体からの推薦により候補者を募り該当者を決定する。 共に府中市民芸術文化祭開会式で表彰する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 受賞者なし 府中市文化活動功労賞 11名授与 	府中市民芸術文化奨励賞については、該当者がいなかったため、受賞者なし。府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が11名あった。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 4月11日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査。 共に該当者は府中市民芸術文化祭オープニングフェスティバルで表彰する。 	府中市民芸術文化奨励賞及び府中市文化活動功労賞の受賞者数について、それぞれの計画値を達成できるよう周知を図る。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 受賞者なし 府中市文化活動功労賞 6名授与 	府中市民芸術文化奨励賞については、該当者がいなかったため、受賞者はいなかった。府中市文化活動功労賞については、受賞条件に該当する者が6名いた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 府中市民芸術文化奨励賞 4月11日号広報及びホームページで推薦を募集、審査委員会にて審査。 府中市文化活動功労賞 府中市芸術文化協会及び文化センター自主グループ連絡会に候補者の推薦を依頼、主管課にて審査。 共に該当者は府中市民芸術文化祭オープニングフェスティバルで表彰する。 	府中市民芸術文化奨励賞及び府中市文化活動功労賞の受賞者数について、それぞれの計画値を達成できるよう周知を図る。

平成31年度における事業の位置付け			
A 重点化・拡大して継続	B	本事業は、文化活動における功績を称えられるもので、市民の文化活動の推進に寄与していると考えます。	
B 現状のまま継続			
C 見直して継続			
D 休止・廃止等			
	1		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
府中市民芸術文化奨励賞受賞者数	1	計画値 当初値	1	1	1	1	指標については該当者がいなかったため、計画値を下回った。指標については受賞条件に該当する者が6名と、計画値を下回った。
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	2	0	0	0	-	
府中市文化活動功労賞受賞者数	17	計画値 当初値	17	17	17	17	
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	12	14	11	6	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	174,000	168,000	156,000	126,000	119,000	111,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	174,000	168,000	156,000	126,000	119,000	111,000
予算現額	174,000	172,000	156,000	126,000	54,000	0
決算額	78,525	101,964	64,860	69,273	44,270	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	78,525	101,964	64,860	69,273	44,270	0
執行率	45.1%	59.3%	41.6%	55.0%	82.0%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.32	0.30	0.31	0.31	0.25	
職員人件費	2,543,026	2,304,704	2,386,068	2,386,454	1,890,861	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	81,385	70,994	163,835	106,489	67,459	
総コスト	2,702,936	2,477,662	2,614,763	2,562,216	2,002,590	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市民芸術文化奨励賞は、自主的な芸術文化活動において著しい成果をあげた個人や団体を表彰し、市民文化の更なる振興と向上を図ってきた。文化活動功労賞は、市内で活動する文化団体において、長期にわたり運営に携わってきた個人に感謝状を贈呈し、今後の活動の励みとなってきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市民芸術文化奨励賞について、広報等で表彰者の推薦を募集しているが、応募が少ないため、市内の小中学校などへ事業の周知を図り広く候補者を募る。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0277000	市民文化活動事業奨励費	119,000	44,270	111,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							119,000	44,270	111,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	文化活動支援事業			事務事業コード	30460400
概要	市民を対象として実施される文化事業に補助金を交付する。また、第2次府中市文化振興計画を策定する。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和59年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市市民文化活動に対する補助金交付要綱、府中市附属機関の設置等に関する条例				
市関連事業					
対象	府中市芸術文化協会（旧称・府中市文化団体連絡協議会）加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業、文化に関する施策				
実施の背景	府中市の伝統文化・芸術の継承及び、新しい文化人の育成に寄与することを目的とし、昭和59年度より開始された。現文化振興計画の計画期間が29年度をもって終了することに伴い、引き続き本市における文化施策を推進するため、次期計画を策定する。				
事業目標	▽様々な芸術文化活動を補助することにより、市民交流を深め、伝統文化や伝統芸能とふれあい、芸術文化への興味と理解を育み、健全な地域社会づくりに貢献することを目標とする。▽第2次府中市文化振興計画を策定する。				
事業内容	▽市民が主体的に取り組んでいる文化振興活動について支援することを意図とし、市民を対象として実施される文化事業に対して補助金を交付する。 ▽文化振興計画検討協議会の委員は、有識者ほか、文化・芸術に関係する各団体の関係者、公募市民2名を含み10名で構成している。市長の諮問に応じて、第2次府中市文化振興計画案に関する事項等について審議する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として、14事業に交付した。 ▽文化振興計画検討協議会の開催 3回	▽計画通り、14事業（団体）からの申請を受け、補助金を交付した。 ▽現計画の取組状況や評価、文化施策及び施設の現状について、審議した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
▽府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付し、今年度は15事業（団体）からの申請を見込んでいる。 ▽文化振興計画検討協議会の開催 5回	▽昨年度と同様、継続して事業に取り組む。 ▽市民の文化・芸術に関する意識調査を実施する。調査結果を基礎資料として、前年度の審議を踏まえ、次期計画案について審議・答申を行う。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
▽府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として、14事業に交付した。 ▽文化振興計画検討協議会の開催 5回	▽15事業（団体）からの申請を見込んでいたが、1事業（団体）が申請をしなかったため、14事業に交付した。その結果、計画値を下回った。 ▽市民意識調査や関係団体等からのヒアリング結果を基礎資料として29年度も引き続き審議し、計画（案）の答申を行った。 平成30年から8年間を計画期間とする府中市文化芸術推進計画を策定した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
▽府中市芸術文化協会加盟団体が実施する市民を対象にした文化事業に、補助金14,000円を上限として交付し、今年度は14事業（団体）からの申請を見込んでいる。	▽アウトプット指標を活動する団体が明確に設定して、その成果を達成する為の計画案を作成するよう団体に働きかける。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	交付希望団体が増えるよう促していくが、対象となる事業が限られており、拡大は困難であるため、現状のまま継続が適当と考える。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
市民文化活動に対する補助 金交付事業数	15	計画 当初値	15	16	17	18	平成28年度と実績値が変わらず、 計画値を下回った。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	事業 実績	14	12	14	14	-	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	事業 実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	1

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	240,000	225,000	196,000	531,000	5,768,000	196,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	240,000	225,000	196,000	531,000	5,768,000	196,000
予算現額	240,000	225,000	196,000	531,000	5,768,000	0
決算額	240,000	210,000	168,000	515,716	5,295,788	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	240,000	210,000	168,000	515,716	5,295,788	0
執行率	100.0%	93.3%	85.7%	97.1%	91.8%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.32	0.30	0.31	0.47	0.37	
職員人件費	2,543,026	2,304,704	2,386,068	3,664,912	2,836,292	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	81,385	70,994	163,835	163,537	101,188	
総コスト	2,864,411	2,585,698	2,717,903	4,344,165	8,233,268	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
▽補助金交付の対象となる府中市芸術文化協会加盟団体全体に交付要件の説明を行い、一般市民を対象とした事業を実施する団体へ支援している。平成29年度は14団体が講座、講習会などを実施し、市民に文化活動の機会を提供した。
▽平成29年度は、協議会を5回開催し、市民アンケート、団体からのヒアリング、計画(案)について審議し、答申をいただいた。平成30年度から8年間を計画期間とする府中市文化芸術推進計画を策定した。
今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)
▽事業の内容によっては一般の参加者が集まりにくい現状がある。今後、実施団体に事業の趣旨をよく理解していただき、事業内容や市民へのPR方法に工夫を凝らす必要がある。
▽平成30年度から8年間を計画期間とする府中市文化芸術推進計画を策定した。今後本市の文化施策を総合的かつ計画的に推進していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	05	0269000	文化振興計画検討協議会運営費	577,000	488,513	
2	01	10	35	05	0269500	文化振興計画策定費	4,981,000	4,611,275	
3	01	10	35	10	0279000	補助金 文化団体活動事業費	210,000	196,000	196,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,768,000	5,295,788	196,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民文化の日運営事業			事務事業コード	30460500
概要	市民文化の日の実施。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	46	市民の文化・芸術活動の支援	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業					
対象	全市民				
実施の背景	府中市文化振興計画において策定されている施策であり、市制60周年の平成26年度に合わせ、事業を開始する。				
事業目標	市民が身近な場所で良質な文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうことができる環境の形成を目標とする。				
事業内容	10月第2日曜日を「市民文化の日」（平成26年度のみ10月5日）と定め、郷土の森博物館、府中市美術館の入場料、観覧料を無料とするほか、その他各文化施設において各種イベントを実施し、市民が多くの芸術文化・歴史に触れられるよう整備する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
10月9日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施した。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園 来場者数 延べ16,551人	当日は午前中が若干の悪天候であったものの全事業を開催することができ、総来場者は昨年度より増加した。 また、事業全体のPRとしてのぼり旗を作成し、施設に設置することで、事業の認知度を高めるよう努めたほか、施設内レストランとの連携による来場者へのサービス付与など、来場者の増加の工夫を図った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
10月8日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施する。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園	実施について、パンフレット・ポスター等を活用し市民への周知を図る。当日はスタンプラリーを実施し、楽しみながら多くの施設に足を運んでもらえるような取組を行う。また、より市民が親しみを持ってもらえる事業となるよう工夫を図る。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
10月8日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施する。 府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、府中市美術館、都立府中の森公園 来場者数 延べ19,289人	29年度は悪天候であった28年度と比べ天候にも恵まれて、総来場者は昨年度より増加した。 また、28年度に作成した事業全体のPRのぼり旗を継続して施設に設置することで、事業の認知度を高めるよう努めたほか、施設内レストランとの連携による来場者へのサービス付与など、来場者の増加の工夫を図った。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
10月14日に次の施設において、入場料・観覧料の無料、または無料講座等各種イベントを実施する。 府中の森芸術劇場、市民会館、郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館、武蔵府中熊野神社古墳展示館、生涯学習センター、中央図書館、都立府中の森公園 なお、例年会場となっていた府中市美術館は30年度のみ休館（改修工事）、グリーンプラザは29年度をもって閉館となった。	実施について、パンフレット・ポスター等を活用し市民への周知を図る。当日はスタンプラリーを実施し、楽しみながら多くの施設に足を運んでもらえるような取組を行う。また、より市民が親しみを持ってもらえる事業となるよう工夫を図る。 各施設とも可能な範囲で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図る取組を実施する。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	より多くの市民に多くの施設に足を運んでもらえるよう、内容やPR方法を工夫する。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
市民文化の日の来場者数	10,300	計画 当初値	12,000	10,400	10,500	11,000	28年度から継続してのぼり旗の作成や施設内レストランとの連携による来場者増加への工夫もあり、また、天候にも恵まれ来場者は昨年度を上回った。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	9,358	13,301	16,551	19,289	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-
		計画 補正值	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	0	143,000	135,000	292,000	237,000	228,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	143,000	135,000	292,000	237,000	228,000
予算現額	0	143,000	135,000	546,000	209,000	0
決算額	0	142,776	77,001	485,859	207,370	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	100,000	0	0
一般財源	0	142,776	77,001	385,859	207,370	0
執行率	0.0%	99.8%	57.0%	89.0%	99.2%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.00	0.41	0.36	0.36	0.31	
職員人件費	0	3,127,813	2,812,152	2,812,607	2,363,577	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	0	0	193,091	125,505	84,323	
総コスト	0	3,270,589	3,082,244	3,423,971	2,655,270	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
当事業は、平成25年度まで府中市美術館・府中の森芸術劇場・府中市生涯学習センター・都立府中の森公園の4施設による共催で行っていたイベント「府中の森の文化まつり」の内容を、開催施設の増加、入館料・観覧料の無料等の取組みにより、発展的に受け継ぐものである。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
事業の拡大方法やPR方法について考え、来場者の増加につなげたい。また、屋外イベントについては、雨天の場合を想定した事業内容や対応策などを考える。文化施設を会場として、市内で文化・芸術に身近に触れていただくことを目的にしていることを活かし、各会場で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成や文化の発展に寄与する取組みを工夫していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	10	0276500	市民文化の日運営費	237,000	207,370	228,000
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							237,000	207,370	228,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	グリーンプラザ管理運営事業			事務事業コード	30470200
概要	府中グリーンプラザの管理及び運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和55年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市立府中グリーンプラザ条例				
市関連事業					
対象	府中グリーンプラザ				
実施の背景	市民文化の向上を図るとともに、コミュニティ活動を増進するための施設として整備したことから、施設の管理・運営を行う。				
事業目標	様々な用途に対応可能な施設の貸出しを行い、市民の自主的な文化活動を支援する。				
事業内容	<p>(公財)府中文化振興財団が指定管理者となり、音楽練習室やけやきホール、その他会議室等を有する府中グリーンプラザの適正かつ計画的な維持管理・運営を行うとともに、以下の業務について指定管理者が行う。また、経年劣化による施設整備の主なものについては市が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用許可に関する業務 使用に係る利用料金の徴収に関する業務 維持管理および運営に関する業務 物品販売の許可に関する業務 				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 C 見直して継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼施設管理運営業務を委託 ※指定管理者として公益財団法人府中文化振興財団を選定 ▼平成28年度に市で実施した主な修繕 府中グリーンプラザ分館北側ガラス窓交換修繕 	指定管理者による適正かつ計画的な施設の維持管理・運営が行われた。また、平成28年度に実施した施設利用者アンケートでは概ね良好な満足度が示されている。一方で、開館から37年経過している施設であり、設備の老朽化が懸念されていることから、定期的に設備を点検し、これまで以上に適切な施設の維持管理に努める必要がある。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> ▼施設管理運営業務を委託 ※平成27年度の指定管理者候補者選定委員会を経て公益財団法人府中文化振興財団による3期目の指定管理が決定した。(平成28年4月1日～平成30年3月31日の2年間の指定管理期間のうち2年目。) ▼躯体設備の経年劣化による修繕は市で行う。 	平成30年3月31日(土)をもって府中グリーンプラザ及び分館は閉館することとなるが、最終年度となる平成29年度も指定管理者のこれまでの実績とノウハウを活かし、利用者が安心且つ快適に施設を利用していただけよう管理運営に努める。また、施設の老朽化を十分に理解し、定期点検以外にも積極的に自主点検を行っていく。修繕については、緊急性や必要性を見極めながら適切なタイミングで実施する。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 D 休止・廃止等
<ul style="list-style-type: none"> ▼施設管理運営業務を委託 ※指定管理者として公益財団法人府中文化振興財団を選定 ▼平成29年度に市で実施した主な修繕 特になし ▼平成30年3月31日(土)をもって府中グリーンプラザ及び分館は閉館した。 	平成30年3月31日(土)をもって府中グリーンプラザ及び分館が閉館することに伴い、指定管理期間の最終年度である平成29年度については、施設利用者の安全性や施設の利便性に配慮しつつも、施設の管理運営経費は最小限に留めた形での維持管理・運営が行われた。また、平成30年3月31日(土)の最終日には、37年間の回顧と利用者への感謝の意を表し、けやきホールや展示ホール等で閉館企画イベントを指定管理者と市の共催事業として実施した。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	D	平成30年3月31日(土)をもって府中グリーンプラザ及び分館は閉館した。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	3	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
グリーンプラザ貸出施設の 平均稼働率	76.9	計画 当初値	77	77	78	78	施設の閉館が決まっていたこと、 また、平成29年7月、ル・シー ニユ(府中駅南口)に市民活動セ ンター「プラッツ」及び府中の森 芸術劇場分館が開館し利用者が新 施設へ流れたことにより、稼働率 が減少した。	
		計画 補正值	-	-	-	-		平成29年度
	%	実績	75	76	74	68		-
-	-	計画 当初値	-	-	-	-		
		計画 補正值	-	-	-	-		
-	-	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値(当初値から補正した値)

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	175,100,000	131,313,000	132,339,000	128,924,000	125,262,000	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	35,000,000	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	6,570,000	14,836,000	14,836,000	14,836,000	10,703,000	0
一般財源	133,530,000	116,477,000	117,503,000	114,088,000	114,559,000	0
予算現額	179,123,000	143,243,000	134,715,000	130,697,000	182,557,000	0
決算額	177,459,033	139,321,818	124,227,740	123,379,364	170,942,502	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	27,200,000	3,000,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	9,841,820	14,836,668	14,836,668	15,035,388	10,703,334	0
一般財源	140,417,213	121,485,150	109,391,072	108,343,976	160,239,168	0
執行率	99.1%	97.3%	92.2%	94.4%	93.6%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.95	0.90	0.91	1.07	0.99	
職員人件費	7,629,079	6,831,802	7,072,988	8,352,589	7,642,231	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	1,718,950	1,288,376	485,655	372,714	272,647	
総コスト	186,807,062	147,441,996	131,786,383	132,104,667	178,857,380	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> ▼平成18年度から指定管理者制度を導入し、公益財団法人府中文化振興財団による当該施設の適正かつ計画的な維持管理・運営が行われてきた。 ▼駅前という立地の良さから、施設の稼働率は常に75%前後を維持しているが、過去の実績と比較すると、利用率は年々低下傾向にある。対策としては、施設利用者や近隣住民に対し、施設案内のチラシを配布する等、稼働率の向上や利用者の新規開拓に向けた取組を行った。 ▼平成23年度には耐震診断評定を取得し、耐震性能を有する施設であることが証明された。 ▼近年の大規模改修工事としては、平成23年度の外壁改修工事(けやき並木通り側と甲州街道側)、平成25年度のエレベーターの改修工事等がある。
今後の課題・展開(未達成の課題・具体的な方策等)
<ul style="list-style-type: none"> ▼平成28年第3回市議会定例会において「府中グリーンプラザ条例を廃止する条例」が議会で可決されたことに伴い、府中グリーンプラザ及び分館は平成30年3月31日(土)をもって閉館した。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	25	0310000	施設管理運営費 管理運営業務委託料 (債務負担行為 解消分)	122,894,000	120,780,062	
2	01	10	35	25	0310500	施設管理運営費 諸経費	1,368,000	0	
3	01	10	35	25	0310700	グリーンプラザ営業補償金	0	50,162,440	
4	01	10	35	25	0314000	グリーンプラザ整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							125,262,000	170,942,502	

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市民会館管理運営事業			事務事業コード	30470300
概要	市民会館の管理及び業務運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成19年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市市民会館条例				
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	市民会館				
実施の背景	平成17年度PFI府中市市民会館・中央図書館(株)と契約し、平成19年12月1日開館。平成34年9月までの15年契約。市民会館部分については、指定管理者制度を導入している。				
事業目標	当該施設を安心・安全かつ快適に利用していただき、稼働率を増加させることにより、より多くの市民に親しまれる文化施設とする。				
事業内容	<p>(株)京王設備サービスを指定管理者として、コンベンションホール飛鳥、会議室、音楽練習室等を有する市民会館の適正かつ計画的な管理運営を行い、以下の業務について指定管理者が行う。一方で、施設の維持管理業務（一部運営業務）については、SPCであるPFI府中市市民会館・中央図書館(株)が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民会館の使用許可に関する業務（不許可・条件変更も含む。） 市民会館の使用に係る利用料金の徴収に関する業務（還付・減免を含む。） 市民会館の運営に関する業務 物品販売の許可に関する業務 				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼(株)京王設備サービスへの業務運営委託</p> <p>▼第3期指定管理(平成28年4月～平成34年9月)</p> <p>▼PFI府中市市民会館・中央図書館(株)への施設管理運営委託</p> <p>【利用状況】</p> <p>コンベンションホール、講師控室、レクリエーションルーム、音楽練習室</p> <p>利用件数 585 利用率 60.8%</p>	施設の維持管理業務を行っている株式会社京王設備サービスが指定管理者となることで、効率的な施設運営を図ることができた。当該施設の適正かつ計画的な運営に努め、稼働率の上昇につなげている。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
PFI事業者と連携して一体的な管理運営を行い、市民サービスの向上をめざし、より多くの市民に利用していただける施設を目指す。	引き続きさらなる稼働率の確保に努め、安全で利用しやすい施設を目指す。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼(株)京王設備サービスへの業務運営委託</p> <p>▼第3期指定管理(平成28年4月～平成34年9月)</p> <p>▼PFI府中市市民会館・中央図書館(株)への施設管理運営委託</p> <p>【利用状況】</p> <p>コンベンションホール、講師控室、レクリエーションルーム、音楽練習室</p> <p>利用率 55.6%</p>	施設の維持管理業務を行っている株式会社京王設備サービスが指定管理者なので、効率的な施設運営を図ることができた。当該施設の適正かつ計画的な運営に努めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
PFI事業者と連携して一体的な管理運営を行い、市民サービスの向上を目指す。さらなる稼働率の確保に努める。PFI事業者との契約終了後、次期運営手法について、複合機能である中央図書館とともに専門家による調査を実施する。	引き続きさらなる稼働率の確保に努め、安全で利用しやすい施設を目指す。次期運営手法の調査結果を基礎資料として、今後ルミエール府中の方向性について検討する。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	平成34年9月のPFI事業終了まで、現状のままの事業を継続していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
市民会館平均稼働率	59	計画 当初値	60	61	62	62	P F I 事業方式により施設の建設から管理運営までを民間等にまかせることで、稼働率の向上が期待される。なお、講師控室の稼働率が低いと計画値の補正を行った。
		計画 補正值	59	59	59	59	
	%	実績	59.4	59.6	60.8	55.6	
	-	計画 当初値	-	-	-	-	-
		計画 補正值	-	-	-	-	-
	-	実績	-	-	-	-	-

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	169,964,000	170,741,000	169,967,000	170,583,000	170,646,000	170,895,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	12,500,000	12,200,000	13,300,000	13,500,000	13,400,000	12,900,000
一般財源	157,464,000	158,541,000	156,667,000	157,083,000	157,246,000	157,995,000
予算現額	169,964,000	168,741,000	169,967,000	170,583,000	170,646,000	0
決算額	166,845,128	166,130,831	165,312,047	168,738,561	168,825,813	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	13,185,800	13,553,351	13,395,000	12,813,800	12,390,700	0
一般財源	153,659,328	152,577,480	151,917,047	155,924,761	156,435,113	0
執行率	98.2%	98.5%	97.3%	98.9%	98.9%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.06	0.90	0.80	0.80	0.72	
職員人件費	8,476,754	6,831,802	6,220,821	6,221,827	5,515,012	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	1,226,836	1,283,731	427,142	277,634	196,755	
総コスト	176,548,718	174,246,364	171,960,010	175,238,022	174,537,580	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果

平成19年に開館し、適正かつ計画的な維持管理・運営に努めている。
市民会館部分については、平成19年度から指定管理者制度を導入して、当該施設の適正かつ計画的な運営に努め、平成28年度からは施設の維持管理業務を行っている株式会社京王設備サービスが指定管理者となったことで、効率的な施設運営を図ることができ、市民により利用しやすい施設となった。

今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）

長期修繕計画等に基づき計画的な運営を行う。
P F I 府中市民会館・中央図書館(株)及び指定管理者との連携を強化し、サービスの向上を目指し、より多くの市民に利用していただける施設を目指す。
府中グリーンプラザ及び分館の閉館や市民活動センタープラッツの閉館などから活動場所を移す利用者もいるため、市民会館の利用を希望される利用者へきめ細かく対応し、更に稼働率の向上に努める必要がある。平成34年9月にはP F I 事業、指定管理期間とも終了するため、その後の運営形態を検討するため、平成30年度に調査を行い、基礎資料を作成する。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	30	0315000	施設管理運営費 業務運営委託料（債務負担行為解消分）	6,172,000	6,172,000	6,172,000
2	01	10	35	30	0316500	施設管理運営費 諸経費	818,000	0	793,000
3	01	10	35	30	0318000	市民会館複合施設整備等事業費 管理運営委託料（債務負担行為解消分）	43,302,000	43,300,236	43,444,000
4	01	10	35	30	0319000	市民会館複合施設整備等事業費 施設購入費（債務負担行為解消分）	119,354,000	119,353,577	119,486,000
5	01	10	35	30	0319100	市民会館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							170,646,000	168,825,813	170,895,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	府中の森芸術劇場管理運営事業			事務事業コード	30470400
概要	府中の森芸術劇場の管理及び運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成3年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市立府中の森芸術劇場条例				
市関連事業	府中駅南口再開発推進事業				
対象	府中の森芸術劇場本館及び分館				
実施の背景	平成3年に、市民の芸術文化の振興を図るために府中の森芸術劇場を設置し、平成18年度から指定管理者制度を導入している。また、平成29年度より府中の森芸術劇場分館を設置し、同様に指定管理者制度を導入している。				
事業目標	当該施設を安全・安心かつ快適に利用していただき、稼働率を増加させることにより、より多くの市民に文化・芸術に関心を持っていただく施設とする。				
事業内容	(公財)府中市文化振興財団が指定管理者となり、3つのホール等を有する府中の森芸術劇場及び4つの音楽練習室を有する府中の森芸術劇場分館について適正かつ計画的な維持管理・運営を行い、以下の業務について指定管理者が行う。一方で、経年劣化による大規模改修等の施設整備については市が行う。 使用許可に関する業務 使用に係る利用料金の徴収に関する業務 維持管理および運営に関する業務 物品販売の許可に関する業務				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【本館】…▼施設管理運営委託、▼昇降機設備改修工事、▼中央監視装置等交換修繕 【分館】…▼内装工事の実施、▼指定管理者選定委員会による指定管理者の選定、▼事前予約特設会場設置による利用予約受付の開始	【本館】…基本的には指定管理にかかる基本協定書に基づき実施した。経年劣化による不具合が生じていた中央監視装置及び交換部品の供給が打ち切られる昇降機3基の改修工事を行い、開館から25年を迎えた施設の老朽化対策の検討を進めた。 【分館】…平成29年度7月の開館に向けて、継続して事業を進めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
【本館】…▼施設管理運営委託、▼施設の老朽化対策の検討 【分館】…▼平成29年度7月開館に向けた設備・業務体制の整備	【本館】…指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。また、開館から25年を迎えた施設の老朽化対策の検討を継続して行う。 【分館】…指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。市民にとって安全で利用しやすい施設を目指す。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
【本館】▼施設管理運営委託 ▼施設の老朽化対策の検討 【分館】▼平成29年度7月開館に向けた設備・業務体制の整備	【本館】基本的には、指定管理に係る基本協定書に基づき実施した。前回の改修工事で対象とならなかった施設・設備の老朽化対策について検討を進めた。 【分館】開館時には記念事業を開催するなど更なる市民の芸術文化活動の振興に努めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
【本館】▼施設管理運営委託 ▼施設の老朽化対策の検討 ▼劣化診断及び天井調査・耐震化検討 ▼リモート設備交換修繕 ▼給水ポンプユニット交換修繕 ▼スタインウェイピアノオーバーホール 【分館】▼施設管理運営委託▼1年点検	【本館】指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。また、施設の老朽化対策について検討を進めるため、劣化診断調査及びホール天井調査・耐震化の検討及び経年劣化が進んだ設備の修繕を行う。 【分館】指定管理に係る基本協定書に基づき実施する予定。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市の財政状況を考慮し、指定管理者には一層の経営努力を求めていくが、基本的には指定管理に係る基本協定書に基づき実施していく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
府中の森芸術劇場3ホール 平均稼働率	72.1	計画 当初値	74	75	75	76	76	2016年問題（首都圏の劇場等の改修が重なったことによるホール不足）のピークが過ぎたことから平均稼働率が下がったが、依然として高い水準にあり、DM送付や利用促進ポスター等の地道な努力の成果によると考える。また、レストランとタイアップしたチケット予約や、夏季コンクール時に広場に軽食販売を実施するなど利用者サービスの向上を図った。
		計画 補正值	-	-	-	-		
	%	実績	77	77.2	79.3	78	-	
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	267,964,000	313,331,000	303,042,000	383,185,000	827,218,000	324,160,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	16,500,000	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	311,000,000	0
その他	200,000,000	100,000,000	0	286,000	203,324,000	0
一般財源	67,964,000	196,831,000	303,042,000	382,899,000	312,894,000	324,160,000
予算現額	279,884,000	326,661,000	338,529,000	383,185,000	827,218,000	0
決算額	279,068,300	323,135,902	334,180,219	369,611,288	816,867,094	0
国庫支出金	0	0	0	0	73,400,000	0
都支出金	0	16,000,000	0	34,600,000	0	0
市債	0	0	0	0	256,000,000	0
その他	0	0	0	286,000	181,830,196	0
一般財源	279,068,300	307,135,902	334,180,219	334,725,288	305,636,898	0
執行率	99.7%	98.9%	98.7%	96.5%	98.7%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.95	0.90	0.80	1.65	1.53	
職員人件費	7,629,079	6,831,802	6,220,821	12,869,806	11,739,097	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	270,272	207,516	427,142	574,291	418,815	
総コスト	286,967,651	330,175,220	340,828,182	383,055,385	829,025,006	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>【本館】…平成18年度から指定管理者制度を導入し適正かつ計画的な維持管理・運営に努め、多くの市民に利用されている施設であり高い稼働率を保っている。平成21～22年にかけて第2期改修工事を行い、老朽化していた舞台設備を中心に一新したほか、オストメイト対応トイレやホール内昇降機を設置するなどバリアフリー化も進んだ。また、前回の改修工事の対象とならなかった施設・設備についての老朽化対策の検討を行った。</p> <p>【分館】平成29年7月に開館して、開館時には記念事業を開催するなど更なる市民の芸術文化活動の振興に努めた。</p>
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<p>【本館】…平成22年9月で終了した第2期改修工事後の管理運営及び施設の老朽化対策を行う。特に、前回改修工事の対象とならなかった施設・設備の老朽化が進んでいるため、長期的な修繕計画を策定する必要がある。平成28年度から32年度までの指定管理者となった公益財団法人府中文化振興財団と連携し、施設の適正な維持管理・運営に努める。</p> <p>【分館】…開館1年点検で設備等の確認を行い、指摘箇所については改善等を行っていく。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	35	0281690	府中の森芸術劇場分館整備事業費 施設購入費（債務負担行為解消分）	504,970,000	504,970,000	
2	01	10	35	35	0281700	府中の森芸術劇場分館整備事業費 初度備品等購入費（債務負担行為解消分）	9,354,000	6,415,716	
3	01	10	35	35	0281800	府中の森芸術劇場分館整備事業費 諸経費	1,330,000	1,110,950	
4	01	10	35	35	0320000	施設管理運営費 管理運営業務委託料（債務負担行為解消分）	302,775,000	298,038,642	310,384,000
5	01	10	35	35	0320200	府中の森芸術劇場分館準備事業費	726,000	342,506	
6	01	10	35	35	0320500	施設管理運営費 諸経費	1,432,000	358,560	6,494,000
7	01	10	35	35	0320900	負担金 府中駅南口第一地区市街地再開発ビル管理組合	5,631,000	5,630,720	6,282,000
8	01	10	35	35	0326000	府中の森芸術劇場整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							827,218,000	816,867,094	324,160,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	補助金 文化振興財団			事務事業コード	30470500
概要	府中グリーンプラザ・府中の森芸術劇場・府中市郷土の森博物館の自主事業の支援				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等					
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	公益財団法人府中文化振興財団				
実施の背景	府中市における地域文化の振興のため、府中の森芸術劇場をはじめとする3施設を拠点にそれぞれの特性を活かした事業の支援を行う。				
事業目標	当該施設を快適に利用していただき、利用者・利用率ともに増加させることにより、より多くの市民に文化、芸術及びふるさと府中の郷土への関心を持っていただく。				
事業内容	(公財)府中文化振興財団の法人管理・自主事業部分に係る人件費及び府中の森芸術劇場、グリーンプラザ、郷土の森博物館において、文化振興財団が実施する、芸術文化振興事業・コミュニティ活動振興事業・郷土資料公開普及事業等の事業費に対して補助している。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等62事業 ○府中グリーンプラザ自主事業 各世代が集い交流の深まる事業23事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業26事業 	<p>本事業は、市の地域文化の振興に寄与すべく、府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、郷土の森博物館を拠点として、それぞれの館の特徴を生かしながら、各種事業を展開してきた。芸術文化振興事業、コミュニティ活動振興事業、郷土の森博物館普及事業をそれぞれの館で実施し、芸術家と学校の連携や市民参加型事業の実施などにより市民の芸術文化の向上のために貢献してきた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等54事業 ○府中グリーンプラザ自主事業 各世代が集い交流の深まる事業21事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業24事業 	<p>市の文化振興計画に基づき、市と公益財団法人府中文化振興財団が協働で市民の文化力の向上や心の豊かさの高揚を図るよう努める。具体的には、市の文化関連団体、ふるさと府中歴史館や美術館などの市の文化関連施設、学校教育との連携や文化保存と公開事業の連携などをすすめていく。また、市民や専門家、学識経験者によって構成される公益財団法人評議員等の知識・経験やその意見を取り入れた事業企画を行い、他市にはない個性的な府中ブランドを展開する。</p>	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等62事業 ○府中グリーンプラザ自主事業 各世代が集い交流の深まる事業25事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業25事業 	<p>本事業は、市の地域文化の振興に寄与すべく、府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、郷土の森博物館を拠点として、それぞれの館の特徴を活かしながら各種事業を展開した。 芸術文化振興事業、コミュニティ活動振興事業、郷土の森博物館普及事業をそれぞれの館で実施し、芸術家と学校の連携や市民参加型事業の実施などにより市民の芸術文化の向上のために貢献した。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ○府中の森芸術劇場自主事業 自主・貸館の各事業等62事業 ○郷土の森博物館 地域に根ざした博物館事業20事業 	<p>平成29年度末で府中グリーンプラザが閉館したことにより、これまで行っていた事業は、府中の森芸術劇場を拠点に引き続き展開していく。 事業内容としては、市の文化芸術推進計画に基づき市と公益財団法人府中文化振興財団が市民の文化力の向上や心の豊かさの高揚を図るよう努め、また、市民や専門家、学識経験者によって構成される公益財団法人評議員等の知識・経験やその意見を取り入れた事業企画を行い、他市にはない個性的なブランドを展開していく。</p>

平成31年度における事業の位置付け

A 重点化・拡大して継続	B	府中文化振興財団は、府中市における芸術・文化とコミュニティ活動の振興を図ることを目的に設立した団体であり、平成23年度より公益財団法人に移行し、市と連携しながら様々な公益目的事業を展開しているところである。厳しい財政状況下でも、事業規模を維持しながら様々な努力により補助金額の削減に努めていることから、現状のまま事業を継続していく。
B 現状のまま継続		
C 見直しして継続		
D 休止・廃止等		
	1	
	2	
	3	
	4	
	1	
	2	
	3	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
府中の森芸術劇場・グリーンプラザ事業利用者数	243,000	計画値	当初値	244,000	245,000	246,000	247,000	平成29年度
			補正值	-	-	-	-	
	人	実績		280,765	300,837	315,941	311,885	-
郷土の森博物館利用者数	293,158	計画値	当初値	302,000	311,000	320,000	333,000	平成29年度
			補正值	-	-	-	-	
	-	実績		175,181	246,998	308,057	283,766	-

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	292,417,000	267,014,000	268,853,000	261,642,000	259,021,000	241,598,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	292,417,000	267,014,000	268,853,000	261,642,000	259,021,000	241,598,000
予算現額	292,417,000	267,014,000	268,853,000	261,642,000	259,021,000	0
決算額	261,836,851	264,580,875	264,374,242	261,642,000	249,529,828	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	261,836,851	264,580,875	264,374,242	261,642,000	249,529,828	0
執行率	89.5%	99.1%	98.3%	100.0%	96.3%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.21	0.19	0.20	0.20	0.17	
職員人件費	1,695,351	1,481,596	1,533,901	1,534,149	1,339,360	
嘱託員数	0	0	0	0	0	
嘱託員人件費	0	0	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	25,910	23,168	105,322	68,457	47,783	
総コスト	263,558,112	266,085,639	266,013,465	263,244,606	250,916,971	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
本事業は、市の地域文化の振興に寄与すべく、府中の森芸術劇場、府中グリーンプラザ、郷土の森博物館を拠点として、それぞれの館の特徴を生かしながら各種事業を展開してきた。芸術文化振興事業では、芸術家や学校との連携を進めるほか、各種団体との共催後援事業を組み入れるなど、芸術文化の総合的な事業を展開してきた。コミュニティ活動振興事業では市民参加型事業を中心に心豊かな交流の深まる事業展開をしてきた。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市から公益財団法人府中文化振興財団へ交付する補助金を毎年減額している状況において、文化振興財団独自の自主事業収入の増加を図ることにより、これまで以上に集客努力や広報活動を推進し、各種事業の入場・参加者数の増加を目指す。さらに、より多くの市民が求める充実した内容で他市にない魅力ある事業を展開していくことが課題である。また市の芸術文化推進計画に基づき、市と公益財団法人府中文化振興財団が連携し、市民の文化力の向上や心の豊かさの高揚を図るよう努める。具体的には市の文化関連団体、ふるさと府中歴史館や美術館などの市の文化関連施設、学校教育との連携や文化財の保存と公開事業の連携などがあげられる。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	10	35	35	0321000	補助金 文化振興財団	166,324,000	157,889,154	158,944,000
2	01	50	30	10	1548600	補助金 文化振興財団	7,776,000	7,776,000	7,387,000
3	01	50	30	21	1581000	補助金 文化振興財団	84,921,000	83,864,674	75,267,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							259,021,000	249,529,828	241,598,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	郷土の森博物館管理運営事業			事務事業コード	30470600
概要	郷土の森博物館における維持管理・企画運営に係る事業				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和62年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市郷土の森博物館条例				
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	郷土の森博物館				
実施の背景	多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。市外からの入館者も多く、多摩地区の総合博物館として、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。				
事業目標	より多くの市民に東京のふるさと府中の郷土・自然や天文に関心を持っていただく。また、ふるさと府中の郷土資料の調査・研究を行うことで、市民に郷土の歴史・文化を伝えていく。				
事業内容	平成18年度から指定管理者制度を導入して、当該施設の適切かつ計画的な維持管理・運営に努めるとともに、地域文化振興を図るためのプラネタリウムの運営や郷土資料調査・研究を行う。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) プラネタリウム更新事業計画策定	当初計画通り事業を実施できた。 リニューアル後の郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図った。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行ったことから、入館者増となった。 また、平成28年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新事業に係る基本的な考え方や更新内容をまとめるプラネタリウム更新事業計画策定を行った。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) プラネタリウム更新工事	前年度から引き続き継続して事業に取り組み、郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図る。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行うとともに、更なる事業の効率化を目指す。 また、平成29年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するため、平成28年度はプラネタリウム更新事業計画を策定し、平成29年度はプラネタリウム更新工事を行う。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) プラネタリウム更新工事	当初計画通り事業を実施できた。 郷土の森博物館常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図った。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行った。 平成29年度から民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新工事に着手した。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 施設管理運営委託 郷土の森博物館常設展示室の積極的活用 地域文化振興事業の実施 郷土資料の収集・調査・研究 プラネタリウムの運営・ソフト作成 など (新規事業) 天井耐震化及び大規模改修基本方針策定	前年度から引き続き継続して事業に取り組み、常設展示室やプラネタリウムの効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図る。これまでの実績を活かし、地域に根差した博物館活用を行うとともに、更なる事業の効率化を目指す。 また、郷土の森博物館は開館から30年が経過しており、設備の老朽化が目立つことから、平成30年度は常設展示室天井耐震化および本館大規模改修の基本方針を策定する。

平成31年度における事業の位置付け		博物館として魅力的で効果的・創意工夫をこらした事業の企画・周知を図り、入館者の更なる増加に務める。また、常設展示室の効果的な活用と教員の研修等を通じて学校との連携強化を図り、地域に根差した博物館活動を行うほか、リニューアル工事を実施したプラネタリウムを活用したイベントの企画を行う。	
A 重点化・拡大して継続	A		
B 現状のまま継続			1 大幅な見直しは必要ない
			2 見直しには法令等の改正が必須
			3 見直しの必要性はあるが時期尚早
	4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小		
	2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止		
	2 廃止		
	3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
郷土の森博物館年間入場者数	293,158	計画値 当初値	302,000	311,000	320,000	333,000	10月より改修工事の為プラネタリウムを休止した影響で、博物館全体の入場者数も28年度と比べて減少したが、特別展が好調であったため、影響を最小限にとどめることができた。
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	266,106	294,858	308,057	283,766	-	
郷土の森博物館プラネタリウム年間観覧者数	65,538	計画値 当初値	70,000	80,000	90,000	100,000	
		計画値 補正值	-	-	-	-	
	実績	47,049	61,546	66,023	44,459	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	339,299,000	582,464,000	377,610,000	359,316,000	415,304,000	261,231,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	67,300,000	87,000,000	78,000,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	245,700,000	223,000,000	17,000,000	0	50,000,000	0
一般財源	93,599,000	292,164,000	273,610,000	281,316,000	365,304,000	261,231,000
予算現額	349,864,000	582,464,000	383,499,000	413,831,000	421,694,000	0
決算額	339,077,673	567,027,081	379,701,255	399,046,552	420,471,956	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	50,000,000	89,968,000	67,200,000	60,000,000	137,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	35,660	0	0	0	50,000,000	0
一般財源	289,042,013	477,059,081	312,501,255	339,046,552	370,334,956	0
執行率	96.9%	97.3%	99.0%	96.4%	99.7%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.35	1.20	1.20	1.20	1.25	
職員人件費	10,789,697	9,136,506	9,349,492	9,351,004	9,602,030	
嘱託員数	0	0	0	0	0.25	
嘱託員人件費	0	0	0	0	780,100	
(間接経費)						
間接経費	61,588	72,676	81,398	66,883	267,781	
総コスト	349,928,958	576,236,263	389,132,145	408,464,439	431,121,867	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
昭和62年開館以来、多くの方々にご利用いただくとともに、ふるさと府中の貴重な歴史資料を収集・保管・活用してきた。多摩地区の総合博物館として、市外からの入館者も多く、本市の歴史・文化の拠点ともいえる教育施設である。平成18年度から指定管理者制度を導入した。平成26年10月には本館常設展示室がリニューアルオープンし、こども歴史街道・体験ステーションコーナーは、特に児童・生徒から人気を集め、リピーターを形成している。博物館全体として、季節ごとの花々などの魅力づくりの創出、入館者へのサービスの向上、おもてなしの心での接客といった取り組みを行っている。平成28年度からは、民間活力を導入したにぎわいと魅力ある空間を創出するプラネタリウム更新事業に係る基本的な考え方や更新内容をまとめるプラネタリウム更新事業計画策定等を行い、平成29年度に改修工事に着手した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> 博物館としての魅力的な事業を企画・周知するとともに、効果的に実施し、入館者の更なる増加を図る。また、その目標を達成するため、リピーターを増加させるべく創意工夫をこらした事業展開を図る。特に、リニューアル後のプラネタリウムや常設展示室を教育資源として活用していくために、学校との連携を強化していく。これまでの実績を活かし、地域に根ざした博物館活動を行うとともに、更なる事業の効率化が求められる。 郷土の森博物館は、開館から30年が経過し、空調関係や雨水管等の老朽化が目立っており、維持管理部分の大規模改修が進んでいないため、今後の大規模改修が大きな課題となっている。 平成29年度から更新工事に着手したプラネタリウムは、常設展などとの相乗効果でより多くの方に来館していただけるよう、リニューアルに合わせて魅力的なプログラムを展開していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	21	1579000	施設管理運営費 管理運営業務委託料（債務負担行為 解消分）	233,898,000	236,660,600	251,072,000
2	01	50	30	21	1580000	施設管理運営費 事業委託料	5,613,000	5,613,000	5,613,000
3	01	50	30	21	1580500	施設管理運営費 諸経費	15,546,000	21,922,356	3,546,000
4	01	50	30	21	1580600	郷土の森博物館整備事業費 昇降機設備改修工事費	51,787,000	48,816,000	
5	01	50	30	21	1588000	郷土の森博物館整備事業費 設計委託料	3,240,000	3,240,000	
6	01	50	30	21	1590000	郷土の森博物館整備事業費 プラネタリウム設備改修 工事費	104,220,000	104,220,000	
7	01	50	30	21	1591000	郷土の森博物館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							415,304,000	420,471,956	261,231,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館維持管理事業			事務事業コード	30470700
概要	府中市美術館の管理及び運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市美術館条例				
市関連事業					
対象	美術館				
実施の背景	市民の文化芸術に対する期待と需要がますます高まっていく中、身近に、心安らぎ希望と充実感を持てる空間を提供していく必要がある。				
事業目標	来館者の安全・快適な鑑賞空間を保持し、美術品の保存管理の安定的安全性を維持する。				
事業内容	<p>施設の適正かつ計画的な維持管理運営に努める。</p> <p>美術館の設置目的と基本テーマ「生活と美術」に基づいた収集保存、企画展示、常設展示、教育普及事業とともに、市民ギャラリー、美術図書室等の充実を図る。</p> <p>学識経験者や団体代表者、公募市民等の12名で構成する美術館運営協議会において、美術館のあり方等、美術館の今後の方向性を審議しており、当該協議会からの答申を基に、美術館の運営を行う。</p>				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などで利用され、入場者数は23,662人を数えた。 ▼美術図書室内のパソコンのソフトを更新し利便性の向上に努めた。 ▼メンバーシップ・賛助会員は、新たに大学1校が加入の意向を示し、高校1校が加入した。 ▼中央監視制御装置を改修した。 	当初の計画どおり事業を実施できた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などの利用を促進する。 ▼平成30年度の特定天井改修事に伴う実施設計を実施する。 ▼メンバーシップ・賛助会員は、大学への勧誘などで拡大を目指す。 ▼不具合箇所の洗出しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼適正な施設管理に努め、市民ギャラリーの利用者の増加を図る。 ▼賛助会員の会員数の増加を図る。 ▼平成30年度の特定天井改修事に伴う実施設計を実施する。同工事に伴う長期休館を利用し不具合箇所の更新を行うため、不具合箇所の洗出しを行う。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などで利用され、入場者数は29,186人を数えた。 ▼平成30年度の特定天井改修事に伴う実施設計を実施した。 ▼メンバーシップ・賛助会員は、新たに大学1校が加入した。 ▼不具合箇所の洗出しを行った。 	当初の計画どおり事業を実施できた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼市民ギャラリーは市内で活動するグループや個人の展示をはじめ、市民芸術文化祭などの利用を促進する。 ▼耐震補強のため、特定天井改修等の工事を実施する。 ▼メンバーシップ・賛助会員は、大学への勧誘などで拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼適正な施設管理に努め、市民ギャラリーの利用者の増加を図る。 ▼賛助会員の会員数の増加を図る。 ▼耐震補強のため、特定天井改修等の工事を実施し環境整備を図る。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	引き続き、適正な施設管理に努める。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
入館者数	174,994	計画 当初値	180,000	190,000	195,000	200,000	200,000	展覧会入場者数、教育普及事業参加者数ともに高い水準を維持している。
		計画 補正值	180,000	190,000	195,000	200,000		
	実績	219,324	203,721	261,628	246,972	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	128,399,000	129,752,000	128,363,000	137,226,000	125,657,000	182,930,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	48,700,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	4,021,000	3,967,000	4,010,000	3,584,000	3,127,000	22,211,000
一般財源	124,378,000	125,785,000	124,353,000	133,642,000	122,530,000	112,019,000
予算現額	128,709,000	124,796,000	128,363,000	134,226,000	126,573,000	0
決算額	126,293,615	121,235,173	122,754,432	120,358,606	124,453,410	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	2,852,962	3,833,706	3,133,128	3,062,422	3,486,599	0
一般財源	123,440,653	117,401,467	119,621,304	117,296,184	120,966,811	0
執行率	98.1%	97.1%	95.6%	89.7%	98.3%	0.0%
(人件費)						
職員数	4.41	5.21	3.60	3.30	3.67	
職員人件費	35,246,343	39,667,664	28,048,475	25,715,260	28,191,560	
嘱託員数	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	
嘱託員人件費	971,423	1,005,217	653,897	643,531	624,080	
(間接経費)						
間接経費	2,937,179	3,338,323	2,588,396	2,479,769	2,688,718	
総コスト	165,448,560	165,246,376	154,045,199	149,197,166	155,957,768	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>施設管理においては、非常時に備え、自家発電機の点検整備の実施、非常照明用蓄電池の交換を行ってきた。節電対策として、深夜電力を活用し冷水を蓄熱し、日中の空調管理に使用して効率を図った。また、空調機用冷却塔3基を高圧洗浄し、空調効率の向上を図った。作品に与える環境整備を改善するため、梱包資材庫内を燻蒸し、空調設備を新設した。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>比較的新しい施設ではあるが、設備の老朽化が現れている。美術品の保管に直接影響するため、不具合箇所の洗出しの結果を踏まえ、施設修繕を計画的に実施していく。 メンバーシップ会員、賛助会員の加入促進を図り、財源確保に努める。 ミュージアムショップとカフェの改善を検討し、充実を図る。 ボランティア等との協働を継続して実施する。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	30	1607300	美術館運営協議会運営費	264,000	220,000	308,000
2	01	50	30	30	1614000	施設管理費 管理委託料	58,087,000	54,812,468	46,619,000
3	01	50	30	30	1615000	施設管理費 光熱水費及び燃料費	38,536,000	39,022,244	31,357,000
4	01	50	30	30	1616000	施設管理費 諸経費	22,170,000	21,977,938	22,346,000
5	01	50	30	30	1625100	美術館整備事業費 調査委託料	0	167,400	
6	01	50	30	30	1625200	美術館整備事業費 設計委託料	5,600,000	6,426,000	
7	01	50	30	30	1625300	美術館整備事業費 空気調和設備改修費	0	1,827,360	81,300,000
8	01	50	30	30	1626000	美術館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							125,657,000	124,453,410	182,930,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館展覧会運営事業			事務事業コード	30470800
概要	企画展の開催				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市美術館条例				
市関連事業					
対象	市民				
実施の背景	「生活と美術」の基本テーマの理念に沿い、地域に根ざした展覧会や全国の美術館とのネットワークを生かした市民の期待にこたえる展覧会を企画する。				
事業目標	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会える場所と機会を提供する。				
事業内容	優れた作品との出会いにより美術文化に対する深い理解と親しみをもち、より豊かな美意識を育める場となるように、企画展を催す。子どもの鑑賞活動を深めて、豊かな情操を養える企画展を開催する。本美術館の主催又は共催により、国内外の優れた美術作品を紹介する企画展を開催する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
企画展は、「生誕130年記念 藤田嗣治展 - 東と西を結ぶ絵画-」においてコンビニエンスストアで前売入場券を委託販売することで、来場者に対する利便性の向上を図った。その結果、平成27年度の入場者数を上回った。	当初の計画どおり実施できた。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
企画展は、秋の大型展覧会においてコンビニエンスストアで前売入場券を委託販売することで、入場者数の増加を図るとともに、利用者に対する利便性の向上を図る。	▼展覧会 (企画展) を4事業開催し、効率的な広報活動に努め入場者数の増加とともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
企画展では、「フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展」をはじめ、「浅野竹二の木版世界展」、「正宗得三郎展」、「絵画の現在展」、「歌川国芳21世紀の絵画力展」を214日開催し、67,566人の方が観覧した。	▼企画展は、来場者数は28年度と比べ若干減少したものの、平成25年度から来場者数は、2年連続で6万5千人を超える結果となり一定の成果をあげている。	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
企画展は、秋の大型展覧会においてコンビニエンスストアで前売入場券を委託販売することで、入場者数の増加を図るとともに、利用者に対する利便性の向上を図る。特定天井改修等工事の実施に伴い、約半年間の長期休館となり、企画展の開催日数が減少する。	▼展覧会 (企画展) を3事業開催し、効率的な広報活動に努め、入場者数の減少を抑えるとともに、市民の美術文化に対する意識の高揚を図る。

平成31年度における事業の位置付け		A	企画展覧会の観覧車数は、順調に推移している。平成30年度は、特定天井改修等工事の実施に伴い、約半年間の長期休館となり、企画展の開催日数が減少するため、観覧車数の減少が見込まれるが、開館20周年 (平成32年度) に向け拡大し継続していく。
A 重点化・拡大して継続			
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
企画展入場者数	45,521	計画 当初値	45,000	45,500	46,000	47,000	47,000	平成29年度は、「フィンランド独立100周年記念 フィンランド・デザイン展」をはじめ、「浅野竹二の木版世界展」、「正宗得三郎展」、「絵画の現在展」、「歌川国芳21世紀の絵画力展」を開催し入場者数は順調に推移した。
		計画 補正值	45,000	45,500	46,000	47,000	-	
	実績	66,774	45,274	71,014	81,195	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	69,656,000	117,087,000	81,669,000	91,167,000	95,725,000	54,042,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	17,800,000	68,165,000	22,663,000	31,062,000	27,773,000	12,500,000
一般財源	51,856,000	48,922,000	59,006,000	60,105,000	67,952,000	41,542,000
予算現額	69,834,000	118,903,000	81,669,000	91,167,000	95,800,000	0
決算額	67,910,614	116,993,900	79,749,510	88,954,425	93,130,430	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	1,500,000	1,000,000	1,500,000	1,608,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	27,199,670	66,442,380	22,605,210	38,948,660	31,812,240	0
一般財源	40,710,944	49,051,520	56,144,300	48,505,765	59,710,190	0
執行率	97.2%	98.4%	97.6%	97.6%	97.2%	0.0%
(人件費)						
職員数	4.49	4.69	4.30	3.90	3.17	
職員人件費	35,885,732	35,708,511	33,502,345	30,390,762	24,350,748	
嘱託員数	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	
嘱託員人件費	1,942,846	2,010,434	1,634,742	1,608,829	1,248,160	
(間接経費)						
間接経費	3,174,150	3,205,032	3,269,555	3,117,426	2,480,289	
総コスト	108,913,343	157,917,877	118,156,151	124,071,441	121,209,627	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
展覧会は、学芸員が一から研究企画している。平成18年の日本経済新聞による全国公立美術館実力調査では、中規模館ながら、企画力では全国で4位となった。 全国美術館会議等への参加の機会などにより、近隣をはじめ全国の美術館との幅広い交流を図り、情報交流や調査、研究、作品の賃貸、共同展覧会の開催を図った。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
入館者を増やす努力とともに、幅広い年齢層の方々に気軽に来ていただく工夫を行う。 また、市民要望の強い、誰もが知っている作品展覧会を、少なくとも年1回は企画できるよう努める。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	30	1608000	展覧会事業費	81,685,000	79,090,430	54,042,000
2	01	50	30	30	1623160	負担金 フィンランドデザイン展	14,040,000	14,040,000	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							95,725,000	93,130,430	54,042,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	美術館常設展等運営事業			事務事業コード	30470900
概要	所蔵品展及び常設展の開催				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 美術館
	施策	47	文化施設の有効活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成12年度～	見直しの裁量
根拠法令等	府中市美術館条例				
市関連事業					
対象	市民、所蔵品				
実施の背景	心の安らぎと希望の持てる空間を市民が求める中、府中市美術館独自の地域美術と所蔵品を調査研究して常設展示し、また様々な教育普及事業を開催して、市民のニーズに答える必要がある。				
事業目標	所蔵品の維持管理及び所蔵品展の開催。教育普及事業の開催。				
事業内容	優れた美術品の鑑賞機会の充実に努め、身近に美術と出会う場所と機会を提供する。様々な教育普及事業を開催して、創作、鑑賞、学習など市民の様々なニーズに答える。美術図書室を充実させ、画集、美術書を市民が安らぎを持って楽しめる空間を提供する。美術品を購入する際や美術品の寄附の申出があった際には、有識者6名により構成する府中市美術品収集選定委員会において、その購入や寄附の受入を審議している。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼美術作品54点の寄贈を受けた。これらを有効活用することに加え創意工夫をこらしながら、常設展の入場者数は、82,430人を数えた。</p> <p>▼教育普及事業では、土曜日を中心に行うワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作及び、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室などの事業を計292回開催し参加者数は75,434人を数えた。</p>	当初の計画どおり実施できた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<p>美術作品54点の寄贈を受けた。これらを有効活用することに加え創意工夫をこらしながら、常設展の入場者数増加を目指す。</p> <p>▼教育普及事業では、土曜日を中心に行うワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作及び、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室などの事業を開催し参加者数の増加を目指す。</p>	常設展、教育普及事業を通し、市民の美術文化に対する知識を高めるとともに意識の高揚を図る。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>▼所蔵品展では、夏休み子ども美術館として「ばれたん動物園」を38日開催し、13,629人が来場した。</p> <p>▼常設展は252日開催し82,328人の方が観覧した。</p> <p>▼美術図書を267冊購入し、美術図書室の充実を図り利用者の利便性の向上に努めた。</p> <p>▼教育普及事業では、公開制作、美術鑑賞教室等を実施した。</p>	<p>▼所蔵品展では、28年度と比べ開催日数が減少したにもかかわらず、来場者数の方は上回り、一定の成果があったものと評価できる。</p> <p>▼常設展では、28年度に比べ開催日数、観覧者数はともに微減とはなりましたが、一定の成果があったものと評価できる。</p> <p>▼美術作品収集は購入はなく、寄贈が22点となり、28年度に比べ大幅に減少した。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<p>平成29年度に美術作品22点の寄贈を受けた。これらを有効活用することに加え創意工夫をこらしながら、常設展の一日当たり入場者数増加を目指す。</p> <p>▼教育普及事業では、土曜日を中心に行うワークショップシリーズのアートスタジオをはじめ、公開制作及び、学校教育と連携した市立小・中学校美術鑑賞教室などの事業を開催し参加者数の増加を目指す。</p>	<p>▼常設展、教育普及事業を通し、全市民の美術文化に対する知識を高めるとともに意識の高揚を図る。</p> <p>▼他所にはない府中独自の美術風土を発掘、拡充、展開を図るため、適切な美術品を購入する。</p>

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続		B
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能	
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合	
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了	
		1
		教育普及事業、常設展観覧者数ともに平成28年度実績を上回り順調に推移している。当面は、現状のまま継続的に実施する。

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
入場者数	56,015	計画 当初値	56,000	56,500	56,800	57,000	常設展の観覧車数数は、平成28年度と比べ微減となった。美術普及事業の参加者も、計画値には、及ばないものの、高い水準を維持している。
		計画 補正值	56,000	56,500	56,800	57,000	
	実績	78,894	59,975	82,430	82,328	-	
美術普及事業参加者数	58,221	計画 当初値	59,000	59,400	59,700	60,000	
		計画 補正值	59,000	56,500	59,800	57,000	
	実績	63,626	57,342	75,434	54,263	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	31,246,000	34,739,000	39,646,000	36,185,000	32,493,000	18,496,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	9,307,000	1,635,000	1,894,000	2,096,000	2,450,000	2,501,000
一般財源	21,939,000	33,104,000	37,752,000	34,089,000	30,043,000	15,995,000
予算現額	31,068,000	34,371,000	39,649,000	36,185,000	31,577,000	0
決算額	28,699,581	33,211,278	37,258,979	33,376,168	29,840,050	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	1,611,569	1,787,444	1,869,127	4,099,471	3,246,070	0
一般財源	27,088,012	31,423,834	35,389,852	29,276,697	26,593,980	0
執行率	92.4%	96.6%	94.0%	92.2%	94.5%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.10	1.10	3.10	2.80	3.16	
職員人件費	8,791,605	8,375,131	24,152,853	21,819,008	24,273,932	
嘱託員数	0.1	0.1	0.3	0.3	0.4	
嘱託員人件費	323,808	335,072	980,845	965,297	1,248,160	
(間接経費)						
間接経費	748,326	727,039	2,315,933	2,196,367	2,473,342	
総コスト	38,563,320	42,648,520	64,708,610	58,356,841	57,835,484	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
今まで収集してきた作品の保存・管理を行い、「生活と美術」の基本テーマのもと、常設展はテーマを設け年間4～6回展示替えを行うとともに、所蔵品展として夏休みにあわせて「ばれたん動物園」など、子どもたちが美術に楽しめる工夫をした展覧会を開催した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
収集作品の充実による常設展について、市内高齢者が元気に外へ出て行く場所としての啓発を行う。子どもを対象とした展覧会は、親子を対象とするなど観覧者数が増えるように工夫する必要がある。展覧会及び関連事業の充実を図り、新成人や高齢者など、あらゆる年代への啓発を行い、市民ニーズの変化に対応した企画を開催し、広報に工夫するなどして、観覧者数の増加に努める。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	30	1607500	美術品収集選定委員会運営費	123,000	102,900	123,000
2	01	50	30	30	1609000	美術普及事業費	5,004,000	4,492,536	6,808,000
3	01	50	30	30	1610000	所蔵品展示管理費	25,813,000	24,025,578	10,088,000
4	01	50	30	30	1613000	図書資料等購入費	1,335,000	1,004,036	1,259,000
5	01	50	30	30	1617000	負担金 全国美術館会議	33,000	30,000	33,000
6	01	50	30	30	1618000	負担金 日本博物館協会	35,000	35,000	35,000
7	01	50	30	30	1619000	負担金 東京の美術館・博物館等共通入館事業費	150,000	150,000	150,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							32,493,000	29,840,050	18,496,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	歴史文化財保存活用事業			事務事業コード	30480100
概要	市内文化財の保存及び活用				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	昭和31年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業	武蔵国府跡保存活用事業・馬場大門ケヤキ並木保護対策事業				
対象	府中市内の文化財				
実施の背景	武蔵国府を中心とする、府中の歴史・文化の情報発信拠点施設として、国府資料展示室の公開、公文書史料室の展示公開事業を実施した。このほかでは、市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存整備を行い、平和展での展示事業も実施していく。				
事業目標	貴重な文化遺産を後世へと伝えていくために、適切に保存・整備・活用し、調査・研究の成果に基づいて様々な形で広く紹介し、「歴史と伝統あるまち・府中」への郷土愛を高めるていく。				
事業内容	国史跡武蔵府中熊野神社古墳、国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）、馬場大門ケヤキ並木など、他市には無い全国的にも優れた歴史文化遺産を保存し、広く活用するため、市民とともに積極的に保護に取り組んでいく体制や組織を構築する。また、これらの歴史文化遺産を有機的に結びつけることによって、点から線、さらに面として広く活用していく。 また、市内の歴史・文化を研究する市民団体である史談会に対し、運営費の一部を補助することで運営を支援する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<input type="checkbox"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="checkbox"/> 文化財の維持・管理 <input type="checkbox"/> 多摩郷土史フェアに出店	文化財の維持・管理をした。 多摩郷土史フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布した。 市指定文化財の説明板が古くなったため、1か所取り替えた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<input type="checkbox"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="checkbox"/> 文化財の維持・管理 <input type="checkbox"/> 多摩郷土史フェアに出店 <input type="checkbox"/> 川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業の実施	昨年度に引き続き、文化財の維持・管理をする。文化財保護審議会の運営では、文化財指定候補を調査し、新文化財の指定を行っていききたい。多摩郷土史フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布していききたい。 郷土ゆかりの人物をとおして、市民の郷土意識を高め、誇りと愛着あるまちづくりを推進していく。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<input type="checkbox"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="checkbox"/> 文化財の維持・管理 <input type="checkbox"/> 多摩郷土誌フェアに出店 <input type="checkbox"/> 川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業の実施 <input type="checkbox"/> 熊野神社古墳特別講演会と古墳ステージイベント事業の実施	文化財の維持・管理をした。 多摩郷土誌フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布した。 郷土の偉人である川崎平右衛門没後250年を記念して「川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業」を実施し、市民の郷土意識を高め、誇りと愛着あるまちづくりを推進した。 熊野神社古墳をテーマとしたイベント、熊野神社古墳の意義と歴史を多くの方々を知っていただき郷土愛を深めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<input type="checkbox"/> 文化財保護審議会の運営 <input type="checkbox"/> 文化財の維持・管理 <input type="checkbox"/> 多摩郷土誌フェアに出店	昨年度に引き続き、文化財の維持・管理をする。文化財保護審議会の運営では、文化財指定候補を調査し、新文化財の指定を行っていききたい。多摩郷土誌フェアに出店し、市が発行した様々な資料を一般に頒布していききたい。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	文化財保護審議会と連携をとり、府中市にふさわしい文化財のあり方や活用を検討していくことが、重要である。既存の文化財や未確認のものを含め、効率よく保存・活用を検討し、実施していききたい。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することができないため、特に指標の設定は行わない。
			補正值	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
			補正值	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	3
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	5,767,000	5,831,000	5,771,000	5,852,000	15,577,000	7,648,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	1,750,000
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	5,000	30,000	30,000	23,000	10,000	10,000
一般財源	5,762,000	5,801,000	5,741,000	5,829,000	15,567,000	5,888,000
予算現額	5,774,000	5,753,000	5,771,000	5,626,000	17,550,000	0
決算額	4,819,991	5,059,933	4,942,578	5,295,706	16,259,979	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	145,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	32,800	23,700	14,300	5,100	2,529,800	0
一般財源	4,787,191	5,036,233	4,928,278	5,290,606	13,585,179	0
執行率	83.5%	88.0%	85.6%	94.1%	92.6%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.40	2.30	1.70	1.20	1.75	
職員人件費	19,181,683	17,511,637	13,245,113	9,351,004	13,442,842	
嘱託員数	0.3	0.3	0.9	1.3	0.5	
嘱託員人件費	971,423	1,005,217	2,942,535	4,182,954	1,560,200	
(間接経費)						
間接経費	123,177	157,465	176,363	139,340	82,063	
総コスト	25,096,274	23,734,251	21,306,589	18,969,004	31,345,084	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
市では、昭和31年の「文化財保護条例」制定後、平成19年には同条例を全部改正した「文化財の保存及び活用に関する条例」を制定し、平成26年3月末現在、国指定文化財9件、国登録有形文化財1件、国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財1件、文部科学省認定重要美術品4件、都指定文化財17件、市指定文化財42件、市登録文化財1件の計75件を保存・活用してきた。この中には、平成17年度の「武蔵府中熊野神社古墳」（国史跡）、平成21年度の「武蔵国府跡（国衙地区）」（国史跡）・「武蔵府中くらやみ祭」（都無形民俗文化財）、平成22年度の古代国司館の「国史跡武蔵国府跡」の追加、平成25年度の「大國魂神社の木造獅子頭一對」（市有形民俗文化財）・「武蔵台遺跡23号住居跡出土品」（都指定有形文化財・考古資料）、平成26年度の大國魂神社東照宮本殿（市有形文化財・建造物）の文化財指定などがあり、大きな成果をあげている。平成29年度に郷土の偉人である川崎平右衛門没後250年を記念して「川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業」を実施した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> これまで以上にハードの整備に加え、ソフト面での文化財の活用をいかに図っていくかが大きな課題であるとともに、市内の貴重な文化財のより一層の保存が必要となっている。 文化財保護審議会委員とも連携し、市内の貴重な文化財の指定を含めた保存と活用を図っていききたい。また、平成23年2月に国の追加指定史跡となった「武蔵国府跡国司館地区」の保存・活用、ケヤキ並木の保護には、特に積極的な取り組みを行っていく必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1521500	文化財保護審議会運営費	1,334,000	1,334,000	1,334,000
2	01	50	30	10	1521800	川崎平右衛門ゆかりのまち交流事業費	9,888,000	9,870,218	
3	01	50	30	10	1523000	文化財保護振興費	2,173,000	924,039	2,441,000
4	01	50	30	10	1529000	武蔵国府等展示活用事業費	2,058,000	4,007,722	3,749,000
5	01	50	30	10	1543000	負担金 東京都市多摩郷土誌フェア	15,000	15,000	15,000
6	01	50	30	10	1546000	負担金 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会	45,000	45,000	45,000
7	01	50	30	10	1548000	補助金 史談会活動事業費	64,000	64,000	64,000
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							15,577,000	16,259,979	7,648,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	埋蔵文化財保存活用事業			事務事業コード	30480200
概要	市内の地下に保存されてきた埋蔵文化財（遺跡）の保護・活用				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和50年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法・東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業					
対象	市内の埋蔵文化財				
実施の背景	開発により遺跡が破壊される話があり記録保存を行う必要が出てきた。				
事業目標	開発による破壊される遺構の記録保存及び重要遺跡の保護と保存及び活用				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ▼開発による破壊される遺跡の記録保存を行うため、文化財保護法に基づき指定された範囲で住宅を建てる場合に、市が遺跡調査会に委託して緊急発掘調査を実施する。 ▼国府等の重要遺跡の保存と活用を行う。 ▼発掘調査成果をデジタル化し、活用しやすい状態にすることで、利用の範囲が広がることから、このデジタル化を進めるとともに、これらを公開・活用して積極的に発信することにより、市民の文化財保護に対する関心を高める。 				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査・保存目的確認調査・調査報告書の作成・整理作業・再整理：刊行済みの報告書のデジタル化・埋蔵文化財情報データベースシステムの更新・遺物の保存処理・遺跡地図の発行などを行った 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者負担の緊急調査は減少しなかったが、期間の短縮など、円滑な実施に努めた。 埋蔵文化財情報データベースシステムの更新については、利用者からも更新の要望が強くあり、今後も追加データの入力が必要となっている。 	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査・保存目的確認調査・調査報告書の作成・整理作業・再整理：刊行済みの報告書のデジタル化・埋蔵文化財情報データベースシステムの更新・遺物の保存処理などを行う 発掘資料を展示する機会を増やし、埋蔵文化財への理解を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市の貴重な歴史資料となる埋蔵文化財発掘調査の適切な実施及び保管・管理を適切に行っていく。 発掘資料の公開・活用については、様々なイベントを利用して、より積極的に実施し、市民への理解を高めていく。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> 緊急発掘調査、保存目的の確認調査、遺跡の有無確認調査を行った。また、調査報告書の作成、整理作業、再整理及び刊行済みの報告書のデジタル化、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新、遺物の保存処理などを行う。 発掘調査速報展、複合施設の調査概要展、市内の出土品展示を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急調査は対応をスムーズに進められるよう配慮した。遺跡の有無確認調査については、これまでその内容が知られていない西原町3丁目周辺の状況を確認することができた。 埋蔵文化財データベースシステムは、当初の予定作業までが完了した。埋蔵文化財の説明、状況確認などこのシステムにより、利用者の遺跡への理解度が大変高くなっている。 	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、緊急発掘調査、保存目的の確認調査を中心に実施する。また、調査報告書の作成、整理作業などと並行して、埋蔵文化財情報データベースシステムの更新、遺物の保存処理などの作業も進める。 発掘調査速報展など、調査成果を公表できる場をできる限り増やしたい。 市の大きな事業である新庁舎・多磨駅に係る発掘調査があり、これらの調査を機会に埋蔵文化財をより多くの方に知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック等のイベントで多くの観光客が府中市を訪れることが考えられるが、外国人を含む多くの人達に歴史ある府中を紹介できるよう、発掘調査成果をわかりやすくまとめて対応できるように公開・活用の準備作業を進めていく。 市内の遺跡について、注目される市の事業の発掘調査の実施によりさらに多くの方に知ってもらう機会としたい。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	府中市における記録のほとんどない時代については、埋蔵文化財の発掘調査成果が重要な歴史資料となる。発掘調査の成果は、広域的な調査をすることで新たに判明することもあり、継続して調査を進めることが今後も求められる。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析	
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
発掘調査現場見学会の参加者数	100	計画値	当初値	120	140	160	180	200	29年度の発掘調査現場見学会、発掘体験は適当な現場が無かったことから実施できなかった。近年、現場の縮小化が進み開催条件に合う現場がなかなか発生しない状況にある。また、発掘成果のデジタル化は、補助金の減額などにより目標年度より1年多く掛かってしまったが、29年度で計画目標の内容を達成した。
		計画値	補正值	-	-	-	-	平成30年度	
	実績	実績	194	133	117	0	-		
発掘調査成果のデジタル化の進捗状況	70	計画値	当初値	80	90	100	-	100	
		計画値	補正值	-	-	-	100	平成28年度	
	実績	実績	80	90	95	100	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	66,613,000	66,922,000	66,193,000	65,568,000	63,267,000	56,723,000
国庫支出金	23,750,000	23,750,000	23,750,000	23,250,000	18,640,000	16,600,000
都支出金	10,250,000	10,250,000	10,000,000	10,000,000	8,000,000	8,300,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	32,613,000	32,922,000	32,443,000	32,318,000	36,627,000	31,823,000
予算現額	66,613,000	66,742,000	66,163,000	65,582,000	68,478,000	0
決算額	64,715,350	62,023,436	52,408,312	55,725,562	67,488,817	0
国庫支出金	23,250,000	21,617,000	17,189,000	18,475,000	18,112,000	0
都支出金	10,000,000	9,193,000	6,750,000	8,100,000	8,000,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	31,465,350	31,213,436	28,469,312	29,150,562	41,376,817	0
執行率	97.2%	92.9%	79.2%	85.0%	98.6%	0.0%
(人件費)						
職員数	2.80	2.80	2.30	2.80	2.60	
職員人件費	22,378,630	21,318,514	17,919,859	21,819,008	19,972,222	
嘱託員数	1.6	1.6	2.3	2.3	2.5	
嘱託員人件費	5,180,923	5,361,157	7,519,811	7,400,611	7,801,000	
(間接経費)						
間接経費	200,736	266,482	312,027	284,254	167,009	
総コスト	92,475,640	88,969,589	78,160,009	85,229,436	95,429,048	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
昭和50年の文化財保護法一部改正に伴い、府中市遺跡調査会を発足して以降現在まで市内の埋蔵文化財包蔵地で1,700箇所を超える発掘調査を実施してきた。これはひとえに市民の理解と協力によるもので、全国60余り置かれた国府の中でも、本市の武蔵国府跡は、最も国府域の実態が明らかになっている国府跡として、平成21年7月に国史跡指定を受け、平成23年2月にはJR府中本町駅前の地区が国府跡に追加指定を受けた。さらに、国府域内部の様相が解明されてきたことも、他の国府跡にはない特質すべき状況である。平成28年度は国府八幡宮境内の保存目的の確認調査の2回目を実施した。また、新庁舎発掘現場で発掘体験を実施した。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
市民の協力によって実施してきた埋蔵文化財発掘調査の成果をいかに市民に還元するか、過去の発掘成果を公にする調査報告書の早期刊行、原因者に負担を求めている発掘調査費の軽減などが課題である。発掘調査成果の市民への還元は、フォーリスを会場とする「発掘お宝展」やふるさと府中歴史館展示室を会場とした公開、長年の発掘調査成果を公にした調査報告書の早期刊行、市民向けのパンフレットの発行などによって進めていく。発掘調査の体制やあり方については、事業主の要求に対して素早く対応できる体制が求められており、遺跡調査会の諸環境も含め検討が必要である。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1524000	埋蔵文化財発掘調査費	61,192,000	65,647,915	54,612,000
2	01	50	30	10	1540000	埋蔵文化財整理事務所管理費 管理委託料	692,000	616,052	696,000
3	01	50	30	10	1541000	埋蔵文化財整理事務所管理費 光熱水費及び燃料費	827,000	876,150	874,000
4	01	50	30	10	1542000	埋蔵文化財整理事務所管理費 諸経費	556,000	348,700	541,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							63,267,000	67,488,817	56,723,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵国府跡保存活用事業			事務事業コード	30480300
概要	国史跡武蔵国府跡の保存・活用				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	昭和50年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業	埋蔵文化財保存活用事業				
対象	国史跡武蔵国府跡（国衙地区・国司館地区）				
実施の背景	国史跡武蔵国府跡は、昭和50年から40年に及ぶ発掘調査によって、国内で最も国府域の具体的な様相が明らかになっている。				
事業目標	国史跡武蔵国府跡を将来に亘って適切に保存し、市民と協働で広く活用を図っていく。				
事業内容	<p>大國魂神社の東に武蔵国の国衙があったことが調査により判明し、また、府中本町駅に隣接する地域では、国司館が建っていたことが調査によりわかっている。</p> <p>これらを適切に保存・活用するため、国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討協議会を立ち上げ、学識経験者・関係団体代表・市民代表らの意見を取り入れながら、国史跡武蔵国府跡保存管理計画を策定し、本史跡を将来に亘って保存し、確実に次世代へと継承していく。国史跡武蔵国府跡（国司館地区）の保存整備活用にあたっては、史跡の保存とJR府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立をめざし、設計・施工を進めていく。</p> <p>また、史跡の歴史的価値を広く内外へ発信するため、市民と協働で活用を図っていく。</p>				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期） <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）賑わい拠点整備市場調査	<input checked="" type="checkbox"/>	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）に着手し、造成工事及び擁壁工事等を行った。 また、第2期工事分である国司館地区賑わい創出ゾーンについて、JR府中本町駅前にふさわしい賑わいと魅力ある空間の創出を目指して、民間活力の導入に向けた市場調査等を行った。

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)	
<input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議の運営 <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議作業部会の運営 <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期その2）	文化庁・東京都の指導助言のもと、市場調査の結果について、検討会議・作業部会で検討するとともに、庁内の関係部署や外部の関係団体と調整を進めながら、国司館地区賑わい創出ゾーンにおける民間活力の導入方法を検討する。 また、古代の空間再現ゾーン及び国衙地区（大國魂神社）連携ゾーンについて国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期その2）を行う。	
H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議の開催（1回） <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期）竣工（復元模型等遺構復元整備については平成30年度終了予定）	<input checked="" type="checkbox"/>	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備工事（第1期その2）で柱の復元等の整備を行い、古代の空間再現ゾーン及び国衙地区（大國魂神社）連携ゾーンの工事を平成30年3月に竣工した。 また、第2期整備について、平成28年度に行った市場調査に基づき、検討を行った。

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場プレオープン（4月） <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）史跡広場オープン（11月） <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議の運営 <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡保存整備活用検討会議作業部会の運営 <input type="radio"/> 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備（第2期）の事業手法の検討	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）第1期工事は、4月に史跡広場をプレオープン、11月に復元模型及びデジタルコンテンツによる復元整備を終え、オープンする。オープンにあたり、管理事務所兼ガイダンス施設を仮設置する。また、第2期工事は文化庁・東京都の指導助言のもと、市場調査の結果について、検討会議・作業部会で検討するとともに、庁内の関係部署や外部の関係団体と調整を進めながら、駅前の賑わい創出のための事業方法について検討を行う。

平成31年度における事業の位置付け		A	国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存活用整備事業は、これまでの経緯を踏まえながら、保存活用整備工事を実施し、平成30年度に第1期整備が完了する。 平成31年度についても、全国でここにはしかない貴重な史跡として、その魅力と価値を市内外に発信するとともに、引き続き市民と協働で広く活用を進めていく。また、第2期整備について、周辺地域の賑わいを創出する施設となるよう、事業を検討し、整備を行っていく。
A 重点化・拡大して継続			
B 現状のまま継続	1 大幅な見直しは必要ない 2 見直しには法令等の改正が必須 3 見直しの必要性はあるが時期尚早 4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1 見直し・縮小 2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等	1 休止 2 廃止 3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがなされないため、特に指標の設定は行わない。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	2
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	8,298,000	6,706,000	48,128,000	111,692,000	342,964,000	264,000
国庫支出金	3,885,000	0	23,800,000	51,870,000	171,350,000	0
都支出金	1,942,000	0	11,900,000	25,935,000	85,675,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	2,471,000	6,706,000	12,428,000	33,887,000	85,939,000	264,000
予算現額	8,298,000	6,706,000	23,970,000	88,793,000	225,276,400	0
決算額	7,345,500	6,375,600	22,878,000	58,842,053	224,556,914	0
国庫支出金	3,491,000	0	11,340,000	22,664,000	104,241,000	0
都支出金	2,805,000	3,080,000	8,500,000	23,365,000	78,181,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,049,500	3,295,600	3,038,000	12,813,053	42,134,914	0
執行率	88.5%	95.1%	95.4%	66.3%	99.7%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.90	0.90	0.60	1.20	1.35	
職員人件費	7,193,131	6,852,380	4,674,746	9,351,004	10,370,192	
嘱託員数	0	0	0.1	0.1	0.5	
嘱託員人件費	0	0	326,948	321,766	1,560,200	
(間接経費)						
間接経費	41,059	54,507	47,482	72,456	61,961	
総コスト	14,579,690	13,282,487	27,927,176	68,587,278	236,549,267	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
J R府中本町駅前位置する国史跡武蔵国府跡（国司館地区）について、全国でここにしかない貴重な史跡として、その魅力と価値を市内外に発信するため、整備を進めてきた。平成29年度に第1期工事を完了し、平成30年4月にプレオープンした。平成29年度に着手した復元模型等遺構復元整備については平成30年度終了予定である。また、平成28年度に民間市場調査を行い、その結果をもとに、J R府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間を創出するよう第2期整備を行っていく。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
これまでの経過を踏まえた上で、第1期工事を着実に実施するとともに、第2期工事分については史跡の保存とJ R府中本町駅前のにぎわいと魅力ある空間の両立を目指して、28年度に行った民間市場調査をもとに、検討会議・作業部会等での検討を行い賑わい創出の事業方法の検討を進めていく。また、史跡の歴史的価値を広く市内外へ発信しながら、年間を通じて多くの人々が集う場所としての幅広い活用の手法について、地元市民と協働で検討を行い、実施していく。

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1519800	武蔵国府跡保存整備活用検討会議運営費	264,000	88,000	264,000
2	01	50	30	10	1549600	負担金 下水道監督事務費	0	0	
3	01	50	30	10	1557900	武蔵国府跡整備事業費 国司館地区保存整備工事費	260,000,000	214,958,880	
4	01	50	30	10	1557910	武蔵国府跡整備事業費 諸経費	74,000,000	0	
5	01	50	30	10	1557950	武蔵国府跡整備事業費 監理委託料	8,700,000	9,007,200	
6	01	50	30	10	1557960	負担金 下水道監督事務費	0	502,834	
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							342,964,000	224,556,914	264,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	文化財整備事業			事務事業コード	30480400
概要	市内文化財の保存及び活用を図るために、整備工事を実施する。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財の保存及び活用に関する条例				
市関連事業					
対象	市内の文化財				
実施の背景	所有者、近隣住民、学識経験者と協議しながら、適切な整備工事を計画的に実施				
事業目標	市内文化財の保存及び活用を行うことにより、より多くの市民に貴重な歴史・文化遺産への関心を持っていただき、ふるさと府中への郷土愛を高める。				
事業内容	武蔵国府跡除く市内の文化財で武蔵府中熊野神社古墳、白糸台掩体壕など保存整備が完了したものについては、今後保存・活用を図る。また、今後整備が必要なものを抽出し、保存・活用することによって、ふるさと府中への郷土愛を高めることを図る。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼全国史跡整備市町村協議会、関東史跡整備市町村協議会の総会や東京都文化財保存協議会への参加 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの維持管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の基本設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▼全国的な史跡整備の情報収集ができた。 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳の適正な保存・管理ができた。 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施にあたり基本設計を行った。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼全国史跡整備市町村協議会、関東史跡整備市町村協議会の総会や東京都文化財保存協議会への参加予定 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの維持管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施設計の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▼引き続き全国的な史跡整備の情報収集を行う。 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳の適正な保存・管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施設計を行う。



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼全国史跡整備市町村協議会、関東史跡整備市町村協議会の総会や東京都文化財保存協議会への参加予定 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの維持管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園の整備の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▼引き続き全国的な史跡整備の情報収集を行う。 ▼白糸台掩体壕、高倉塚古墳の適正な保存・管理 ▼武蔵府中熊野神社古墳公園整備の整備を行う。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	国史跡の保存や活用のための最新情報を得るためにも、全国史跡整備市町村協議会及び関東地区史跡整備市町村協議会、東京都区市町村文化財保存整備協議会への参加が必要である。白糸台掩体壕、高倉塚古墳などの適切な維持管理に努める。また、文化財に関する専門の職員による体制の維持が必要である。
B 現状のまま継続		
1 大幅な見直しは必要ない		
2 見直しには法令等の改正が必須		
3 見直しの必要性はあるが時期尚早		
4 現状では見直しが不可能		
C 見直して継続	1	
1 見直し・縮小		
2 他事業との整理・統合		
D 休止・廃止等		
1 休止		
2 廃止		
3 完了		

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	
	-	計画値	当初値	-	-	-	-	
		計画値	補正值	-	-	-	-	
		実績		-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要性は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	1
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	2
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	50,000	50,000	7,567,000	1,360,000	5,500,000	70,000
国庫支出金	0	0	3,750,000	0	0	0
都支出金	0	0	1,875,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,000	50,000	1,942,000	1,360,000	5,500,000	70,000
予算現額	50,000	50,000	7,567,000	1,370,000	5,500,000	0
決算額	50,000	50,000	7,194,000	1,366,000	5,460,000	0
国庫支出金	0	0	3,564,000	0	0	0
都支出金	0	0	2,672,000	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,000	50,000	958,000	1,366,000	5,460,000	0
執行率	100.0%	100.0%	95.1%	99.7%	99.3%	0.0%
(人件費)						
職員数	1.00	0.90	0.40	0.40	0.35	
職員人件費	7,992,368	6,852,380	3,116,497	3,117,001	2,688,568	
嘱託員数	0.8	0.8	0	0	0	
嘱託員人件費	2,590,462	2,680,578	0	0	0	
(間接経費)						
間接経費	82,118	102,957	27,132	22,294	15,182	
総コスト	10,714,948	9,685,915	10,337,629	4,505,295	8,163,750	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<ul style="list-style-type: none"> 国史跡武蔵府中熊野神社古墳保存整備：平成20年から本格的な保存整備事業を開始し、土地所有者（熊野神社）等関係者と協議して事業を進めた。国内最大・最古の上円下方墳で、東日本では初めての上円下方墳の整備事業として、市内外から注目され、平成21年度に復元整備を完了した。新たに西側の土地を取得したため、平成28年度には保存整備の基本設計、平成29年度には実施設計を実施した。 市史跡御嶽塚保存整備：JR西府駅開業にあわせて、御嶽塚公園の一角にふさわしい整備を行った。 市史跡旧日本陸軍調布飛行場白糸台掩体壕保存整備：平成21年度に掩体壕の保存を目的とした改修工事を行い、平成23年度に保存整備事業を竣工し、毎年11月3日に特別公開を実施している。
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<p>国史跡武蔵府中熊野神社古墳は、古墳西側の公有地化が行われ、平成29年度に武蔵府中熊野神社古墳公園整備の実施設計を行い、平成30年度には保存整備工事を行う。本古墳については地元保存会と協働で活用をしているが、今後いかに効率的な事業を進め活用を図るかが課題である。また、市史跡白糸台掩体壕も保存整備は完了したが、今後のさらなる活用・維持が課題である。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1545000	負担金 全国史跡整備市町村協議会	70,000	60,000	70,000
2	01	50	30	10	1555000	文化財整備事業費 設計委託料	5,430,000	5,400,000	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							5,500,000	5,460,000	70,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	ふるさと府中歴史館管理運営事業			事務事業コード	30480500
概要	「ふるさと府中歴史館」として管理・運営する。				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	任意事業
	事業種別	主要な事務事業	事業開始年度	平成23年度～	見直しの裁量
根拠法令等	文化財保護法、東京都文化財保護条例、府中市文化財保護条例、府中市文化財及び保存に関する条例				
市関連事業	府中市文化振興計画				
対象	ふるさと府中歴史館				
実施の背景	市の名の由来となった「武蔵国府」が置かれた場所付近に案内施設の要望があり、廃止となった旧中央図書館をリニューアルして、武蔵国府に関する情報発信等や歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行うことを目的とした。				
事業目標	武蔵国府に関する情報発信等の施設として、歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行い、市内外の多くの方に観ていただき理解をいただく。				
事業内容	1, 300年前に武蔵国府の中核施設である国衙が置かれた場所にあることを踏まえ、武蔵国府に関する情報発信等の施設として、歴史的資料・郷土資料等の収集・保存を行う。 また、古代国府を中心とした市の歴史や文化について、市民に発信し、関心を寄せられるよう、特別展や講座などを開催する。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼館の管理運営 ▼歴史的文書資料の選別・収集・整理 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展を開催し、5,120人入場 ▼夏休み子ども向け発掘特別展を開催し、10,863人入場 ▼府中の発掘お宝展2016を開催し、24,129人入場 	館の管理運営のほか歴史的な文書資料の選別・収集・整理を実施するとともに、文化財情報データベースシステムを引続き運用し実施した。また、特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け発掘展の開催をはじめ、文化財発掘調査の研究成果による企画展示や、オリンピック等の話題のテーマを取り入れた創意工夫による事業企画を展開し、市の歴史の解明や市民への文化の発信に努めた。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的な文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催 ▼夏休み子ども向け特別展の開催 ▼市史編さん歴史講座などの実施 	ふるさと府中歴史館の管理運営のほか歴史的な文書資料の収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを引き続き運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示、市史編さんによる歴史講座などを開催する。

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的な文書資料の選別・収集・整理・保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催し、8,266人入場 ▼夏休み子ども向け発掘特別展を開催し、12,136人入場 ▼府中の発掘お宝展2017を開催し、24,559人入場 ▼市史編さん歴史講座を2回実施し、140人参加 	ふるさと府中歴史館の管理運営のほか歴史的な文書資料の選別・収集・整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを引き続き運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示、市史編さんによる歴史講座などを開催する。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼ふるさと府中歴史館の管理運営 ▼歴史的な文書資料の収集、整理及び保存 ▼文化財情報データベースシステムの運用 ▼くらやみ祭特別展の開催 ▼夏休み子ども向け特別展の開催 ▼府中の発掘お宝展2018の開催 ▼市史編さん歴史講座などの実施 	ふるさと府中歴史館の管理運営のほか歴史的な文書資料の収集、整理及び保存を継続する。文化財情報データベースシステムを引き続き運用する。特別展として、くらやみ祭展や夏休み子ども向け展示を開催するとともに、長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示、市史編さんによる歴史講座などを開催する。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	長年にわたる発掘調査における研究成果の企画展示をはじめ、くらやみ祭などイベントに合わせた展示を行う。来館のきっかけとなる分かりやすい展示や講座の開催、その年における話題のトレンドをテーマに取り入れた展示など、創意工夫による様々な事業企画に努め、来館者増を図る。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移					目標値・ 目標年度	指標の分析
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
「ふるさと府中歴史館」入館者数	55,511	計画 当初値	58,300	61,200	64,300	67,500	67,500	歴史ある府中を知っていただくために、魅力ある企画展示や講座の開催をはじめ、「府中ぐるっとスタンプラリー」や「市民文化の日」等、他機関との協働による事業に参加し、ふるさと府中歴史館の入館者数は、平成27年度は大幅増となっているが、平成28・29年度は指標をやや下回っている。
		計画 補正值	-	90,000	90,000	90,000	平成29年度	
	実績	57,306	92,360	88,962	87,340	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	2
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	27,420,000	28,674,000	28,634,000	26,584,000	25,006,000	25,474,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	27,420,000	28,674,000	28,634,000	26,584,000	25,006,000	25,474,000
予算現額	26,348,000	29,132,000	25,107,000	26,800,000	25,330,000	0
決算額	22,223,877	27,056,745	23,112,791	22,963,489	23,147,343	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	324,000	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	160,920	0	0
一般財源	22,223,877	27,056,745	23,112,791	22,802,569	22,823,343	0
執行率	84.3%	92.9%	92.1%	85.7%	91.4%	0.0%
(人件費)						
職員数	3.05	2.30	1.80	1.20	0.85	
職員人件費	24,376,722	17,511,637	14,024,237	9,351,004	6,529,380	
嘱託員数	0	0	0.5	1.1	0.3	
嘱託員人件費	0	0	1,634,742	3,539,423	936,120	
(間接経費)						
間接経費	139,145	139,295	156,013	128,193	37,957	
総コスト	46,739,744	44,707,677	38,927,783	35,982,108	30,650,800	0

5 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
<p>ふるさと府中歴史館の整備は、平成20年度に建築工事と展示工事の実施設計を行い、全体計画を取りまとめた。建物内の配置は、機能や利便性に配慮し、1階を「国府メモリアルホール」、「万葉集の世界」及び「くらやみ祭紹介コーナー」に、2階を「宮町図書館」及び「公文書史料室・公文書史料展示室・国府資料室」に、3階を「事務室」として整備した。</p> <p>平成21年度からは耐震改修工事、各種設備工事及び「国府資料室」の展示工事を進め、平成23年4月に開館したものである。</p> <p>開館直後から、1・2階のコーナー利用以外に来館を促す様々な企画展示や講座の開催に努めてきた。</p>
今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）
<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見も伺いながら府中市の歴史や文化を紹介し、広く市民の郷土愛を高める施設として、多くの方に来館していただく施設とする。 1階においては、くらやみ祭展や発掘された最新の遺物の展示、2階の公文書史料展示室においては、貴重な歴史史料の研究成果を公開する企画展など魅力ある展示に努めて、より多くの来館者とリピーターの確保に努める。 外壁等経年劣化による老朽化がみられ、建物の維持管理を行う必要がある。

6 構成事業一覧

(単位：円)

No.	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1540500	ふるさと府中歴史館管理運営費 管理委託料	11,248,000	10,365,840	11,865,000
2	01	50	30	10	1540510	ふるさと府中歴史館管理運営費 光熱水費	4,350,000	4,312,358	4,268,000
3	01	50	30	10	1540520	ふるさと府中歴史館管理運営費 諸経費	8,408,000	8,469,145	8,341,000
4	01	50	30	10	1554790	ふるさと府中歴史館整備事業費 緊急整備工事費	1,000,000	0	1,000,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							25,006,000	23,147,343	25,474,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営事業			事務事業コード	30480600
概要	国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の管理、運営				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	法定事業・任意事業混在
	事業種別	その他の事務事業		事業開始年度	平成23年度～
見直しの裁量	市に事業の一部を見直す裁量あり				
根拠法令等					
市関連事業					
対象	古墳見学者				
実施の背景	平成17年に熊野神社古墳が国史跡に指定され復元整備が行われた。これに伴い古墳展示館が整備された。				
事業目標	国史跡武蔵府中熊野神社古墳の見学に際して、より古墳の意義の理解を促し、府中市の歴史を学習できる場とする。さらに、地域の情報発信のできる施設として市民と協働で活用する。				
事業内容	墳丘土層標本や調査中の写真、解説パネル等を設置し、熊野神社古墳の魅力を発信するための施設として、国史跡 武蔵府中熊野神社古墳展示館の建物管理及び受付、見学者対応などを行う。				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼学校利用について様々な機会にPRをした ▼団体利用について保存会との連携によりサポート体制を整えた ▼メディアの取材についてできる限りスムーズな対応を行い、PRの機会を増やした 	<ul style="list-style-type: none"> ▼学校利用については、これまで見学に来ていた学校に加え、新たな学校が見学を訪れている ▼団体のリピーターが着実に増えている ▼メディアを通じて知ったという方が増えている 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼学校の利用にあたっては、担当の先生が利用しやすいようにさらにサポートを充実させる ▼団体利用の事前問合せなどに柔軟に対応することで、さらに利用団体を増やす ▼インターネットで新しい視点の発信が行えるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ▼団体利用は大きな集客につながるので、決め細やかな対応ができるようにしたい ▼インターネットでのリンクやツイートなどの波及効果が見込めるような案内ができるようにしたい

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<ul style="list-style-type: none"> ▼学校利用のPRを行った。また、事前の下見などで担当の先生と打合せを行い、利用しやすい環境を整えるようにした。 ▼一般団体の利用についても、見学内容を確認しできる限り要望に沿うように対応した。 ▼テレビ、ラジオ、雑誌などの取材対応も行い、PRの機会を増やした。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼学校利用については、新しい学校が着実に増えている。 ▼一般団体でもグループ規模から30人を超える規模の団体利用があり、それぞれの目的に合わせ見学に来られている。古墳の見学プラスアルファの部分があり、利用者側もいろいろな模索を行っている。 	



新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<ul style="list-style-type: none"> ▼30年度は、古墳の改修や西側の古墳公園の整備工事があり、見学にいろいろな配慮が必要であるが、引き続き、学校利用、団体利用のPRと見学サポートを充実していきたい。 ▼様々なメディアでの情報発信を行っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▼平成31年度からは、古墳公園もオープンする予定なので、公園の利用を含め、今からより充実した見学ができるように準備を進めていく。

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	テレビ、ラジオ、新聞などいろいろなメディアで紹介されているので、今後の公園整備に合わせて効果的なPRを進めていきたい。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度			
国史跡 武蔵府中熊野神社 古墳展示館 入館者数	6,000	計画 当初値	10,000	11,500	13,000	14,600	14,600	目標値に4000人ほど不足している。本年度も、炎天、台風、積雪などの異常気象による見学に適さない天候が増えてきているため、いくつかの団体見学がキャンセルされている。また、個人、グループもこれと同様な傾向がみられる。
		計画 補正值	-	-	-	-	平成29年度	
	実績	10,481	11,745	10,138	10,594	-		
-	-	計画 当初値	-	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	-	
-	-	実績	-	-	-	-	-	

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要性は低い	3
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	2

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	8,028,000	7,316,000	7,092,000	6,843,000	7,366,000	7,154,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,028,000	7,316,000	7,092,000	6,843,000	7,366,000	7,154,000
予算現額	9,102,000	7,116,000	7,091,000	6,829,000	7,191,000	0
決算額	8,294,124	6,372,782	6,260,930	6,159,112	6,190,450	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,294,124	6,372,782	6,260,930	6,159,112	6,190,450	0
執行率	91.1%	89.6%	88.3%	90.2%	86.1%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.60	0.60	0.30	0.30	0.30	
職員人件費	4,795,421	4,568,253	2,337,373	2,337,751	2,304,487	
嘱託員数	0.3	0.3	0.2	0.2	0.15	
嘱託員人件費	971,423	1,005,217	653,897	643,531	468,060	
(間接経費)						
間接経費	41,059	54,507	33,916	27,868	15,183	
総コスト	14,102,027	12,000,759	9,286,116	9,168,262	8,978,180	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>本古墳の整備事業は、平成20年度から平成23年度の4年間で古墳の整備と古墳展示館周辺整備の2本の事業として進められた。平成23年度は、最終年度として古墳展示館をオープンし、古墳展示館周辺整備、原寸大石室模型設置などを実施した。また、古墳展示館の受付業務を市民団体と協働して行うようにした。この市民団体の受付業務は好評で、古墳展示館の呼び物の一つであり、リピーターの増加にもつながっている。平成28年度は、古墳と展示館のキャラクターである「くまじい」、「おくまちゃん」がゆるキャラグランプリにエントリーし、前回より800位以上アップしたことから知名度があがってきた。古墳まつりは、近隣の参加が多く、遠方の方が少ない傾向にある。以前より、外国人来館者がみられるようになった。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>本古墳は、府中市及び日本の歴史を学ぶ上で欠かせない史跡であり、多くの子どもが見学できるようこの施設をさらに積極的に活用していきたい。これには、保存会を中心に市民と協働で積極的な活用事業を実施していく必要がある。PR方法の一つとしてインターネットの多方面での活用をさらに進めたい。また、外国人の見学も想定し見学の補助資料などの用意や、古墳まつりが天候に左右されやすいので、雨天時のプログラムの工夫が必要と考えている。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1540600	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 業務運営委託料	3,192,000	3,192,000	3,097,000
2	01	50	30	10	1540610	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 管理委託料	2,928,000	1,931,294	2,815,000
3	01	50	30	10	1540620	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 光熱水費	836,000	876,577	842,000
4	01	50	30	10	1540630	武蔵府中熊野神社古墳展示館管理運営費 諸経費	410,000	190,579	400,000
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							7,366,000	6,190,450	7,154,000

事務事業評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

1 事務事業の概要

事務事業名	市史編さん事業			事務事業コード	30480700
概要	府中市史編さん事業				
総合計画	基本施策	5	文化・芸術活動の支援	主管部課名	文化スポーツ部 ふるさと文化財課
	施策	48	歴史文化遺産の保存と活用	事業類型	任意事業
	事業種別	その他の事務事業	事業開始年度	平成26年度～	見直しの裁量
根拠法令等	無				
市関連事業	無				
対象	府中市史編さん				
実施の背景	以前の市史発刊以降、研究成果の集積は著しい。また自然・民俗など大きく変化している。市史の編さんは成果の資料化を図り、未来に継承し歴史の検証を可能にさせる役割もっています。				
事業目標	平成35年度(市制施行70周年)までに市史の通史編及び資料集等の発刊を終える。				
事業内容	<p>原始から近世までにかけて、自然や民俗を含めた様々な府中市における歴史を記録した「市史」を、昭和43年及び49年に発刊しており、その後の都市の変化や考古学の分野における新たな発見を内容に加えて、新たな府中市史を発刊するため、市史編さん協議会(審議会)の策定する市史編さんの構想等に基づき、時代区分ごと等の専門部会を設置するなど、編さん体制を構築する。専門部会等では、資料の調査・分析等を行うことによって、資料集及び通史の発刊にむけて計画的に作業を進める。また、市史編さんの事業として、講演会の開催や「市史編さんだより」の発行などの広報活動を行う。</p>				

2 事業計画・評価

H28年度実績 (Do)	H28年度評価 (Check)	評価内容 A 重点化・拡大して継続
<p>編さんのための資料収集、調査研究を進展させた。専門部会は現実に即した分野ごとの活動も含めて、原始古代7回、中世5回、近世6回、近現代4回、民俗3回の会議・調査活動を年度内に計25回実施し、審議会は計2回開催した。市民への周知と史料調査の成果報告の一環として、近世史料調査報告会を史料ゆかりの地域で実施した。印刷物は市史編さんだよりを2回発行した。市内大学との連携・協働では、近世・近現代・自然の各分野で委託調査を実施し、調査を推進させた。</p>	<p>各分野において資料の収集、調査研究に取り組んだ。特に、近世分野では市民・市内寺社の協力をいただき、大きな成果を得ることができた。今後も信頼関係を維持しながら調査を進めていくことが大切と感じている。市史編さん全体として、市民・各種団体との連携・協働を随所に取り入れながら事業を推進することができた。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H28年度評価に基づく見直し (Action)

H29年度の具体的な取組 (Plan)	H29年度の方向性 (Plan)
<p>各分野の資料収集、調査研究については継続して実施する。本年度は刊行物の発行を開始し、民俗分野の報告書1冊、全分野に関わる研究紀要1冊を刊行する予定。また刊行物の発行と併せて、市民に広く周知するための講演会を実施する予定である。市内大学等との連携・協働による委託調査も継続して実施する。</p>	<p>市史編さん方針で掲げた長期計画に基づいて、現在の各分野の資料収集・調査研究の進捗状況を勘案して、具体的な専門分野ごとの実施計画を固め、計画的な刊行を進められるようにしていく。</p>

H29年度実績 (Do)	H29年度評価 (Check)	評価内容 B 現状のまま継続
<p>資料収集、調査研究を継続する上での各部会を原始古代7回、中世3回、近世5回、近現代2回、自然3回実施した。その他、審議会3回、編集委員会1回開催。</p> <p>民俗分野の報告書はライフヒストリー調査成果で、29組の市民からの聞き取り成果を報告書にまとめた。研究紀要は、平成30年度から刊行することに変更し、方針を策定。講演会は近世分野(12月)、中世分野(3月)で開催。調査活動における近隣大学との連携協働は継続している。</p>	<p>各分野とも資料収集、調査研究が進展。資料については資料編、通史編などへの活用を視野に入れた蓄積が得られ、研究による大きな成果が期待できる。また、市民や大学ほかの団体との協力関係も活動年数を重ねる毎に密となり、市史編さん活動における市民協働が定着しつつある。小中学校の児童生徒を協力者として実施した「けやき並木クルースポット調査(自然分野)」はその事例の一つである。最初の刊行物として民俗報告書を発行した。</p>	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H29年度評価に基づく見直し (Action)

H30年度の具体的な取組 (Plan)	H30年度の方向性 (Plan)
<p>資料収集、調査研究を継続するとともに原始・古代分野資料編(考古1、文献)、近現代分野資料編1の他に府中市史研究を編集発行する。デジタル本原稿を準備する。</p> <p>また、講演会を計画的に開催し、編さん事業の情報発信を効果的に進める。市内大学等との連携・協働による委託調査も継続して実施する。</p>	<p>編さん事業期間の中間年となるので、平成36年の事業完了に向けて計画の確認とこれまでの実績の検証を行う。各分野の資料編・通史編を着実に刊行するための準備を進めていく。</p>

平成31年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	市史編さん事業は当初策定した「市史編さん方針」に沿って、着実な成果の積み上げが必要となる。そのため、安定した計画に基づく継続作業の実施が重要であり、見直し、縮小などの可能性に乏しい事業である。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

3 指標実績の推移・現状分析

指標名	基準値 (単位)	事業推移				目標値・ 目標年度	指標の分析
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	数値の比較や推移で評価することがないため、特に指標の設定は行わない。
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		
	-	計画 当初値	-	-	-	-	
		計画 補正值	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-		

※ 当初値：指標設定当初の計画値、補正值：現時点での適正な計画値（当初値から補正した値）

現状分析	3	2	1	
国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施すべきである	実施する必要は低い	2
実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	1
類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	
多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

4 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(事業費)						
当初予算額	0	502,000	19,636,000	26,859,000	36,514,000	53,484,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	30,000	30,000
一般財源	0	502,000	19,636,000	26,859,000	36,484,000	53,454,000
予算現額	0	502,000	19,636,000	26,859,000	36,514,000	0
決算額	0	453,358	12,946,337	22,660,740	26,211,620	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	453,358	12,946,337	22,660,740	26,211,620	0
執行率	0.0%	90.3%	65.9%	84.4%	71.8%	0.0%
(人件費)						
職員数	0.00	1.10	3.70	3.70	4.90	
職員人件費	0	8,375,131	28,827,599	28,832,261	37,639,958	
嘱託員数	0	1	3	3	4.8	
嘱託員人件費	0	3,350,723	9,808,449	9,652,971	14,977,920	
(間接経費)						
間接経費	0	127,183	454,480	373,435	318,835	
総コスト	0	12,306,395	52,036,865	61,519,407	79,148,333	0

5 これまでの取組及び今後の展開

<p>これまでの主な取組と成果</p> <p>旧市史は昭和36年～昭和49年の14年間で27冊の資料集と共に刊行した。それ以降も市史編さん事業に関する知の蓄積を叢書等で市民に発信し続けてきた。また、当時の自治体史では時代別、内容別に分割構成した編集は余り例が無く、内容からも、たいへん先駆的で優れた市史刊行物を編さんしたと評価されている。市ではその後、昭和50年に遺跡調査会を発足させ、国衛の特定や熊野神社古墳調査のほか市内1700か所の調査実績による大きな成果を得ており、全国的にも注目されている。また、郷土の森博物館でもデータ蓄積を図り、多数の資料を収集・保管してきた。現在、「府中市史編さん方針」に基づき旧市史を評価した上で、これらの前市史後の成果を活用するとともに、新たな市史編さんを進め、6分野の専門部会に研究者をグループ化して編さんのための新たな調査研究に取り組んでいる。</p>
<p>今後の課題・展開（未達成の課題・具体的な方策等）</p> <p>「府中市史編さん方針」とおり、専門的な視点からの利用に応える質の高い内容を保つとともに、その一方で読みやすく、分かりやすく、広く親しまれる市史の編さんを目指していく。また、前回の市史の存在を十分に踏まえ、市史発行以降での50年間の調査・研究成果に基づいた新たな知見を盛り込んで、更に半世紀後の市政、市民からのニーズにも耐えうる市史の編さんを進める。郷土を理解し、郷土を愛し、郷土を考えることができる市史編さんとするため、専門部会委員との連動性に配慮しながら、市内の学校や企業、地域のコミュニティ団体やボランティア団体、そして市職員や協力いただける方々との連携を図りながら事業を進める。</p> <p>市史刊行物については計画に沿って順次、編集発行を進めていくが、追加、分冊、合冊などを掲載する情報の分量や状況によって検討して、柔軟に対応していきたい。</p>

6 構成事業一覧

(単位：円)

	会計	款	項	目	事業 コード	予算事業名	H29年度		H30年度 当初予算額
							当初予算額	決算額	
1	01	50	30	10	1521610	市史編さん審議会運営費	336,000	270,000	336,000
2	01	50	30	10	1521700	市史編さん事業費	36,178,000	25,941,620	53,148,000
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
合 計							36,514,000	26,211,620	53,484,000